ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6



型式：YY2984

クイックスタートガイド

正しい装着方法を確認しましょう

ヘッドセットを装着する

アプリをダウンロードして、ヘッドセットのセットアップをしましょう

お持ちの製品とアプリを接続することで初めて使える便利な機能がたくさんあります。
今すぐ“Sony | Sound Connect”をダウンロードして試してみましょう。

Sound Connect

使い始めよう



電源を入れる

ランプ（青）が点滅するまで、 ⏻ （電源）ボタンを約2秒以上押したままにして、電源を入れてください。お買い上げ後に初めて電源を入れたときは、自動的に機器登録（ペアリング）モードになります。



BLUETOOTH®接続する

“Sony | Sound Connect”アプリをダウンロードします。
ダウンロードした“Sony | Sound Connect” アプリの指示に従ってください。



ヘッドセットで操作する

タッチセンサーコントロールパネルを使って、以下の操作ができます。

- すばやく2回タップする：再生/一時停止
- 前にすべらせて離す：次の曲の頭出し
- 後ろにすべらせて離す：前（または再生中）の曲の頭出し
- 上にすべらせて離す：音量を上げる
- 下にすべらせて離す：音量を下げる

詳しい操作は「音楽再生時にできること（Bluetooth接続）」をご覧ください。

⚠ 水ぬれによる焼損や故障を防ぐために
ヘッドセットは防水仕様ではありません。
雨や汗などでぬれたまま充電すると焼損や故障の原因になります。

ご注意

- ヘッドセットのスライダーを調節せずに装着した場合、適切な装着位置にならず痛みを感じたり、ノイズキャンセリング効果が弱いと感じることがあります。
  また、ヘッドセットの装着検出機能が正しく動作せず、自動的に音楽が再生停止したり、自動電源オフ機能（省電力機能）が働き自動的にヘッドセットの電源が切れる場合があります。

関連情報

ヘッドセットを装着する
手動でBluetooth接続する
ヘッドセットを充電する

準備する

Bluetooth機能でできること

音声ガイダンスについて

付属品について

- 箱の中身を確認する
- キャリングケースに収納する

各部の名前

- 各部の名前
- ランプ表示

ヘッドセットを装着する

- ヘッドセットを装着する

ヘッドセットを操作する

- タッチセンサーコントロールパネルについて
- Quick Access（クイックアクセス）を使う

電源／充電

- ヘッドセットを充電する
- 使用可能時間
- 充電式電池の残量を確認する
- ヘッドセットの電源を入れる
- ヘッドセットの電源を切る

接続する

Bluetooth接続をするには

アプリを使ってかんたんに接続する

- “Sony | Sound Connect”アプリを使って接続する

Android搭載スマートフォン

- Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する
- Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する
- 機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する

iPhone（iOS搭載機器）

- iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する
- 機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する

ウォークマン®

- ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する
- ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）
- 機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する
- 機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）

パソコン

- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 11）
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 11）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する （Mac）

その他のBluetooth機器

- Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する
- 機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する

マルチポイント接続

- 2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）

“音声の切り替え”で複数機器間の音声を切り替える

“Auracast™ブロードキャスト・オーディオ”で音楽を共有する

Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

付属のヘッドホンケーブルをつないで使う

音楽を聞く

Bluetooth接続を使って音楽を聞く

- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- 音楽再生時にできること（Bluetooth接続）
- 360 Reality Audioについて
- スピーカーと組み合わせてシームレス再生を楽しむ（Auto Switch）

ノイズキャンセリング機能

- ノイズキャンセリング機能とは
- ノイズキャンセリング機能を使う
- 装着状態や環境に合わせてノイズキャンセリング性能を常に自動で最適化する

周囲の音を聞く

- 音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））
- 周囲の騒音レベルに合わせて自動で外音取り込みレベルを調整する（自動外音取り込み）

- すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）
- ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）

音質モード

- 音質モードについて
- 対応コーデックについて
- DSEE Extremeについて
- 360 Upmix for Cinemaを使う

通話する

- 電話を受ける
- 電話をかける
- 通話時にできること
- パソコンでビデオ通話する

音声アシスト機能を使う

- 音声コントロールを使う
- Google アシスタントを使う
- 音声アシスト機能（Googleアプリ）を使う
- 音声アシスト機能（Siri）を使う

アプリを使う

- “Sony | Sound Connect”アプリでできること
- “Sony | Sound Connect”アプリをインストールする
- “Sony | Sound Connect”アプリからサポート情報を見る
- ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）

サービスとの連携でできること

- サービスとの連携でできること

お知らせ

- 使用上のご注意
- 水ぬれによる焼損や故障を防ぐために
- ライセンスについて

商標について

サポートホームページで調べる

困ったときは

困ったときにすること

リセットする

初期化する

主な仕様

主な仕様

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

Bluetooth機能でできること

ヘッドセットではBluetooth技術を使って以下のようなことができます。

音楽を聞く

スマートフォンや音楽プレーヤーなどからワイヤレスで音楽を楽しめます。



通話する

スマートフォンをカバンやポケットの中に入れたまま、ハンズフリーで通話ができます。



5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

音声ガイダンスについて

お買い上げ時の状態では、以下の状況でヘッドセットから日本語の音声ガイダンスが流れます。
“Sony | Sound Connect”アプリを使用すると、音声ガイダンスの言語の変更やオン／オフの切り替え、音量設定ができます。

「ペアリングモード」

- 機器登録（ペアリング）モードにしたとき

「バッテリーが少なくなりました」

- ヘッドセットの充電式電池の残量が少なくなったとき

「バッテリーがなくなりました」

- ヘッドセットの充電式電池の残量が少なくなって自動的に電源が切れるとき

「バッテリー約XX%」

- 充電式電池の残量を確認したとき
  「XX」の数値は大まかな残量を示します。おおよその目安として利用してください。

「テスト音声です」

- 音声ガイダンスの音量を設定したとき

「Google アシスタントが接続されていません」

- タッチセンサーコントロールパネルを操作しても、ヘッドセットに接続したスマートフォンでGoogle™アシスタントが使用できないとき

「音声アシスタントは使用できません。Sound Connectを開いて、音声アシスタントの設定を確認してください。」

- LE Audio接続中に音声アシスタントの操作をしたとき

「Sound Connectを起動し、サービスとの連携をONにしてください。」

- サービスとの連携がオフでQuick Accessが使用できないとき

「Quick Accessに割り当てたアプリが起動していません」

- NC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタンにQuick Accessを設定した場合、NC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタンを押しても、対応するアプリが起動しないとき

「Quick Accessは使用できません。Sound Connectを開いて、Quick Accessの設定を確認してください。」

- LE Audio接続中にQuick Accessの操作をしたとき

「セーフボリュームコントロールにより、音量を制限します。」

- セーフボリュームコントロールが開始したとき

「すみません、分かりませんでした」

- 音声コントロールで、ウェイクワード認識後、コマンドが認識されないとき

「モバイル機器の音声アシスタントから応答がありません。設定を確認してください。」

- 音声コントロールで、”アシスタント”は認識されたが、音声アシスト機能が起動しないとき

「マイクオフ」

- 通話中にヘッドセットを操作してマイクをオフにしたとき

「マイクオン」

- 通話中にヘッドセットを操作してマイクをオンにしたとき

「ヘッドホンのUSB端子に水分が検出されました。充電しないでください。」

- USB Type-C端子に水分が検出されている状態で、電源を入れてヘッドセットを装着したとき
- 電源を入れてヘッドセットを装着している状態で、USB Type-C端子に水分が検出されたとき

「ヘッドホンのUSB端子に水分が検出されています。バッテリー残量が少なくなりましたが、充電しないでください。」

- 電源を入れてヘッドセットを装着している状態で、USB Type-C端子に水分が検出され、さらにバッテリー残量が少なくなったとき
- バッテリー残量が少なくなった状態で、USB Type-C端子に水分が検出され、さらに電源を入れてヘッドセットを装着したとき

「ヘッドホンのUSB端子に水分が検出されなくなりました。充電が可能です。 」

- バッテリー残量が少ない状態で、電源を入れてヘッドセットを装着している際に、USB Type-C端子に水分が検出されなくなり充電が可能になったとき

「充電を停止しました。充電を再開するにはUSBケーブルを外し、しばらくしてからお試しください。」

- ヘッドセットを使用しながら充電中に充電異常や充電温度異常が発生したとき

ご注意

- 音声ガイダンスの言語を変更するのにかかる時間は約10分です。
  電波環境などの条件によっては、10分以上かかる場合があります。
- 音声ガイダンスの言語を変更した状態でヘッドセットを初期化すると、言語も初期状態に戻ります。
- 音声ガイダンスの言語変更やソフトウェアアップデートを行った後に音声ガイダンスが聞こえなくなった場合は、いったんヘッドセットの電源を切り、もう一度電源を入れてください。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

箱の中身を確認する

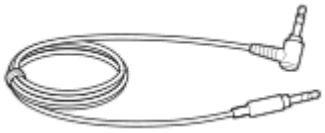
箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
（ ）内は個数を示します。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット（1）

USB Type-C™ケーブル（USB-A - USB-C™）（1）



ヘッドホンケーブル（1）



キャリングケース（1）



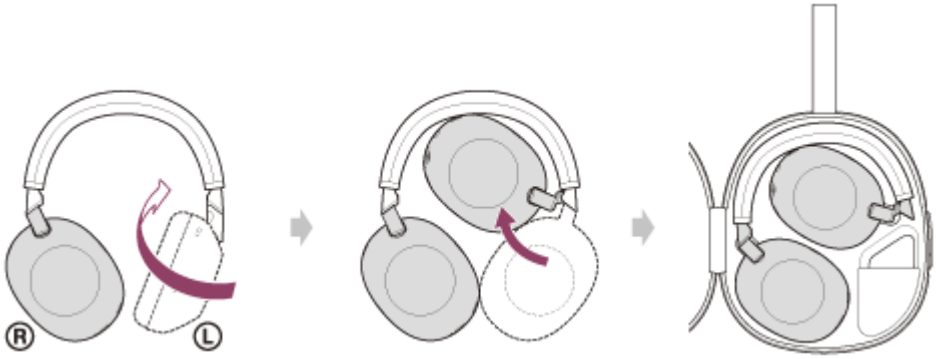
印刷物 （一式）

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

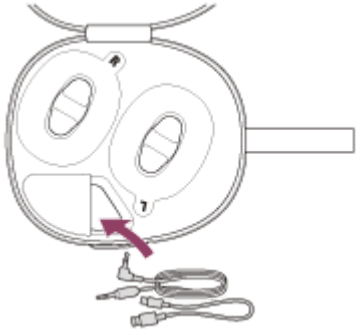
キャリングケースに収納する

使用後は、スライダーを一番短くし、左右のユニットを回転させてヘッドセットを平らにします。左ユニットをヘッドバンドに向けて折りたたみ、付属のキャリングケースに収納してください。



ケーブルを収納するには

ケーブルは、キャリングケース内の区切られたホルダーに収納してください。



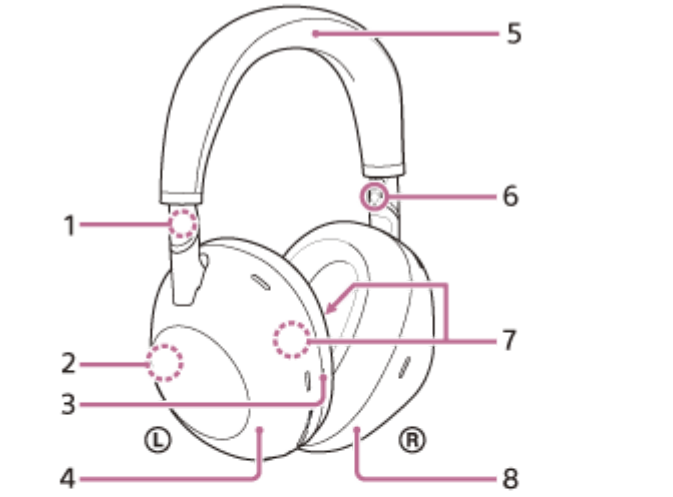
取扱説明動画について

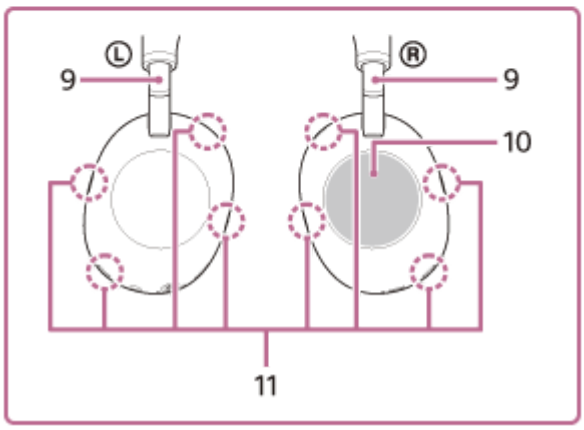
ヘッドセットをキャリングケースに収納する方法は、動画でご覧いただけます。
音声での説明はありません。
https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0091/ja/

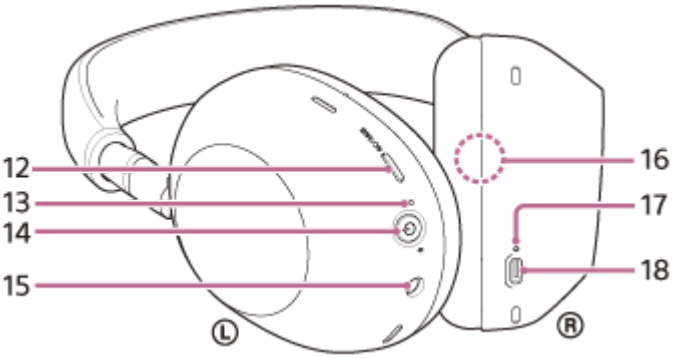
5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

各部の名前







1. Ⓛ（左）マーク

2. 内蔵アンテナ
   Bluetoothアンテナが内蔵されています。

3. 凸点（突起）
   左ユニットのハウジング周囲には凸点（突起）がついています。

4. 左ユニット

5. ヘッドバンド

6. ®（右）マーク

7. ノイズキャンセリング機能用マイク（内部）（左、右）
ノイズキャンセリング機能使用時のノイズを収音します。

8. 右ユニット

9. スライダー（左、右）
ヘッドバンドの長さを調節します。

10. タッチセンサーコントロールパネル
タッチ操作で、Bluetooth接続機器の音楽再生リモートコントロールなどができます。

11. ノイズキャンセリング機能用マイク（外部）、音声収音用マイク（左、右）
ノイズキャンセリング機能使用時のノイズ、通話時やスピーク・トゥ・チャットモード使用時の声を収音します。

12. NC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタン

13. ランプ（オレンジ／青）
ヘッドセットの電源状態と通信状態をオレンジ色と青色で表示します。

14. ⏻（電源）ボタン／ ᛒ （Bluetooth）ボタン

15. ヘッドホンケーブル入力端子
付属のヘッドホンケーブルを使って音楽プレーヤーなどを接続します。奥まで「カチッ」と音がするまで差し込んでください。プラグが正しく接続されていないと、音が正常に聞こえません。

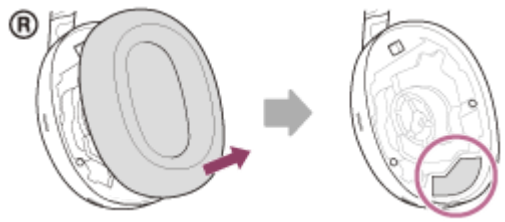
16. 製造（シリアル）番号
右ユニット内側に記載されています。
下記「製造（シリアル）番号や安全マーク等を確認するには」をご覧ください。

17. 充電ランプ（オレンジ）
充電中にオレンジ色に点灯します。

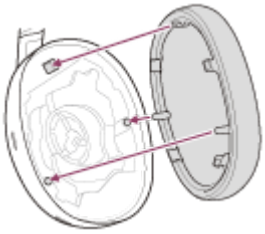
18. USB Type-C端子
付属のUSB Type-Cケーブルで、ヘッドセットをパソコンにつなぐか、別売のUSB ACアダプターを使って電源コンセントにつないで充電します。

製造（シリアル）番号や安全マーク等を確認するには

- ヘッドセットの電源がオフで、USBケーブルが接続されていないことを確認する。
- 右ユニットのイヤーパッドを、ハウジングに対して垂直に引っ張って取り外す。
右ユニットの右下に製造（シリアル）番号や安全マーク等が記載されています。



- 外したイヤーパッドを右ユニットに取り付ける。
カチッと音が鳴るまで5か所のツメをしっかりはめ込んでください。



ご注意

- 必要な時以外イヤーパッドは外さないでください。
- イヤーパッドを取り外す際は必ず電源をオフにし、USBケーブルが接続されていないことを確認してください。
- 砂鉄やその他金属類のある場所でイヤーパッドを取り外さないでください。ヘッドセット内部にある磁石に砂鉄やその他金属類が付着し、ヘッドセットが故障するおそれがあります。
- 上記の注意事項に従わなかった場合の不具合は製品保証の対象外となります。

関連項目

- ランプ表示
- 充電式電池の残量を確認する
- タッチセンサーコントロールパネルについて

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

ランプ表示

ヘッドセットの動作状態をランプで確認できます。

● ：青色点灯／ ● ：オレンジ色点灯／- ：消灯

（電源）ボタンのランプ（青／オレンジ）

電源を入れたとき

● -- ● --（2回青色点滅）
このとき、充電式電池の残量が10%以下（要充電）の場合、続けて以下のように表示されます。
▬ -- ▬ --（約15秒間遅いオレンジ色点滅を繰り返す）

電源を切るとき

▬ ----（約2秒間青色点灯）

充電式電池の残量を表示したとき

- 残量：10%より多い
  ● -- ● --（2回青色点滅）
- 残量：10%以下（要充電）
  ▬ -- ▬ --（約15秒間遅いオレンジ色点滅を繰り返す）

詳しくは、「充電式電池の残量を確認する」をご覧ください。

充電式電池の残量が少なくなったとき

▬ -- ▬ --（約15秒間遅いオレンジ色点滅を繰り返す）

Bluetooth機能

- 機器登録（ペアリング）モード
  ● - ● ---- ● - ● ---- ● - ●（2回ずつ青色点滅を繰り返す）
- 未接続状態
  ● ---- ● ----（約1秒間隔で青色点滅を繰り返す）
- 接続完了
  ● - ● - ● - ● - ● - ● - ● - ● -（約5秒間速い青色点滅を繰り返す）
- 接続状態
  ● - - - - ● - - - -（約5秒間隔で青色点滅を繰り返す）
- 着信中
  ● -- ● -- ● -- ● -- ● -- ● --（速い青色点滅を繰り返す）

未接続状態や接続状態の表示は、一定の時間が経過すると自動的に消灯します。なにか操作を行うと、もう一度、一定時間点滅します。また、充電式電池の残量が少なくなると、オレンジ色点滅に変わります。

その他

- ヘッドホンケーブル接続中（電源が入っているとき）
  ● - - - - ● - - - -（約5秒間隔で青色点滅を繰り返す）

一定の時間が経過すると自動的に消灯します。また、充電式電池の残量が少なくなると、オレンジ色点滅に変わります。

- ソフトウェアアップデート中
  ● - ● - - - - ● - ● - - - - ● - ● - - - -（約0.6秒間隔でオレンジ色と青色点滅を繰り返す）
- 初期化完了
  ● - ● - ● - ● -（4回青色点滅）
  詳しくは、「初期化する」をご覧ください。

USB Type-C端子の充電ランプ（オレンジ）

充電時

- 充電中
  ▬▬▬▬▬▬（オレンジ色点灯）
  充電が完了すると消灯します。
- 温度異常
  ● ● - - ● ● - -（2回ずつオレンジ色点滅を繰り返す）
- 充電異常
  ▬▬ - - ▬▬ - -（遅いオレンジ色点滅を繰り返す）

関連項目

- 充電式電池の残量を確認する
- 初期化する

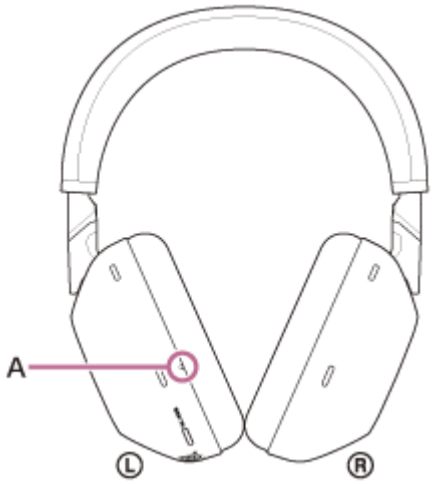
5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

ヘッドセットを装着する

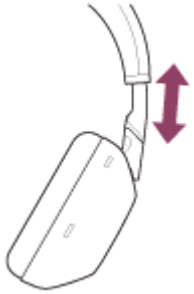
1 ヘッドセットの左右を確認する。

左ユニットには Ⓛ （左）マーク表示、凸点（突起）（A）、 ⏻ （電源）ボタン、NC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタンがあります。
右ユニットには Ⓡ （右）マーク表示があります。凸点（突起）、ボタンはありません。



2 スライダーを伸ばす。

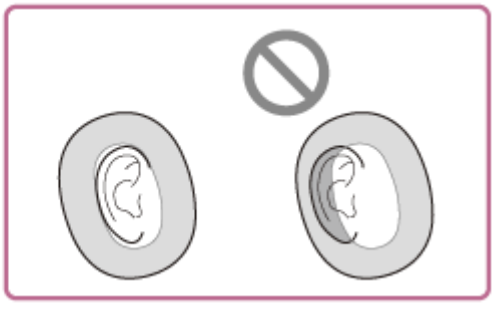
ヘッドセットを装着する前にスライダーをいっぱいに伸ばします。



3 ヘッドセットを装着する。

耳がイヤーパッド内に収まるようにヘッドセットを装着します。





4 スライダーの長さを調節する。

ヘッドバンドが頭頂部に触れるところまでスライダーの長さを調節します。





5 ユニットの角度を調節する。

耳の周りにイヤーパッドが均一に当たるように左右のユニットの角度を調節します。



ヘッドセットのスライダーを調節せずに装着した場合、適切な装着位置にならず痛みを感じたり、ノイズキャンセリング効果が弱いと感じることがあります。
また、ヘッドセットの装着検出機能が正しく動作せず、自動的に音楽が再生停止したり、自動電源オフ機能（省電力機能）が働き自動的にヘッドセットの電源が切れる場合があります。

ヘッドセットを耳に装着したり取り外したりすると

お買い上げ時の設定では、ヘッドセットを耳に装着したり耳から取り外したりすると、ヘッドセットの左ユニットに内蔵された近接センサーがそれを感知して、自動的にタッチセンサーコントロールパネル操作の無効化や電源オフ、再生の一時停止などを制御します。

ヘッドセットを装着すると

- ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルで音楽再生や通話などの操作ができます。

ヘッドセットを取り外すと

- ヘッドセットを耳に装着して音楽を再生しているときに、ヘッドセットを取り外すと、自動的に再生を一時停止します。もう一度耳に装着すると再生を再開します。
- 電池を節約するため、ヘッドセットを装着しないまま15分経過すると、自動的にヘッドセットの電源が切れます。
- 誤動作を防止するため、ヘッドセットを取り外すと、タッチセンサーコントロールパネルをタップしても音楽再生や通話などの操作はできません。
  また、NC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタンを押してもノイズキャンセリング機能を使用することはできません。

取扱説明動画について

ヘッドセットを耳に装着する手順は、動画でご覧いただけます。
音声での説明はありません。
https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0090/ja/

ヒント

- “Sony | Sound Connect”アプリを使用すると、装着検出による自動音楽再生停止／再生再開機能や、装着検出による自動電源オフ機能（省電力機能）の設定を変更できます。

ご注意

- ヘッドセットのスライダーを調節せずに装着した場合、適切な装着位置にならず痛みを感じたり、ノイズキャンセリング効果が弱いと感じることがあります。
  また、ヘッドセットの装着検出機能が正しく動作せず、自動的に音楽が再生停止したり、自動電源オフ機能（省電力機能）が働き自動的にヘッドセットの電源が切れる場合があります。
- 以下のような場合、装着検出が誤動作する場合があります。ヘッドセットを使用しない場合は電源を切ってください。
  - ヘッドセットを首にかけた状態で、ハウジング内に顎が入る



  - 左ユニットのイヤーパッド内部に手を入れる



  - ヘッドセットをカバンなどに入れる



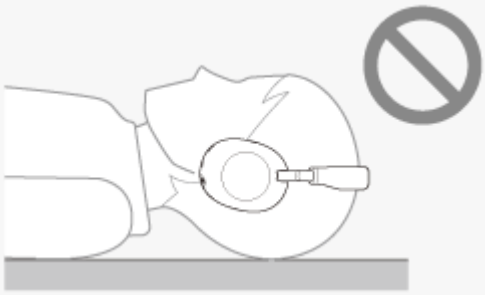
  - ヘッドセットをカバンなどに掛ける



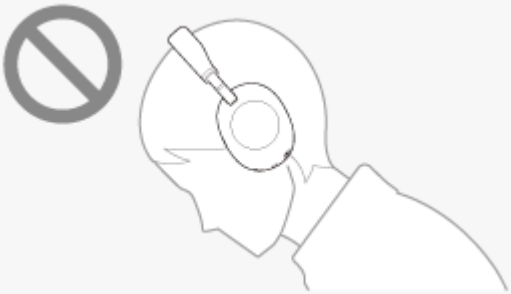
  - ヘッドセットを机の上などに置く



- 以下のように、上を向いた状態や下を向いた状態でヘッドセットを装着したり、ヘッドセットを逆さまにして装着した場合、装着検出が正しく動作せず、タッチセンサーコントロールパネルやNC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタンを操作できない場合があります。前を向いてヘッドセットを正しく装着するか、 （電源）ボタンを短く押してください。
  - 寝た状態や上を向いた状態でヘッドセットを装着する



  - 下を向いた状態でヘッドセットを装着する



- ヘッドセットを帽子や布、マフラー、髪の毛などの上から装着した場合、装着検出が正しく動作せず、タッチセンサーコントロールパネルを操作できない場合があります。耳がイヤーパッド内に入るように装着してください。
- 付属のヘッドホンケーブルをつないでいるときは、装着検出は動作しません。
- 装着検出による自動音楽再生停止／再生再開機能は、Bluetooth接続時のみ有効です。
- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、装着検出による自動音楽再生停止／再生再開機能には対応していません。
- ユニットの回転軸などの可動部を通常とは逆側に回す、ヘッドセットを落下させるなど、通常使用の範囲を超える外力を与えると破損する恐れがあります。お客様の誤った取り扱いが原因の破損による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

関連項目

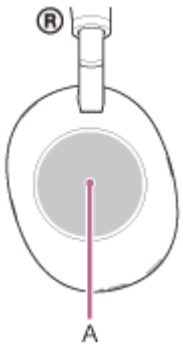
- “Sony | Sound Connect”アプリでできること

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

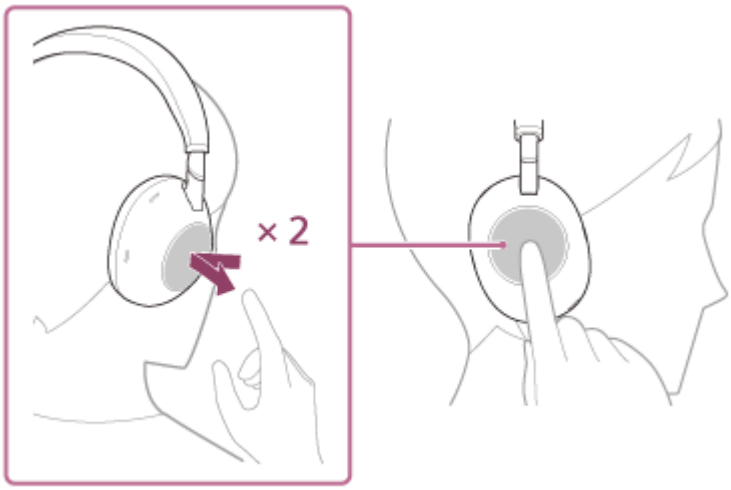
タッチセンサーコントロールパネルについて

ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネル（A）を使って、再生や通話、クイックアテンションモードの切り替えなどさまざまな操作ができます。



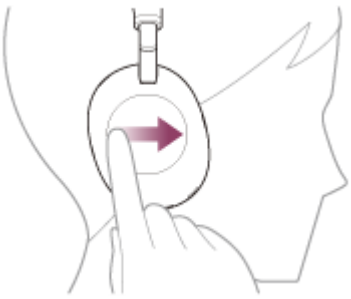
主な操作

- すばやく（約0.4秒間隔で）2回タップする



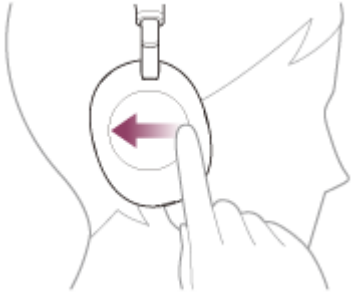
音楽再生時：再生／一時停止をします。
通話時：着信中の場合は、電話を受けます。通話中の場合は、通話を終了します。

- 前にすべらせて離す



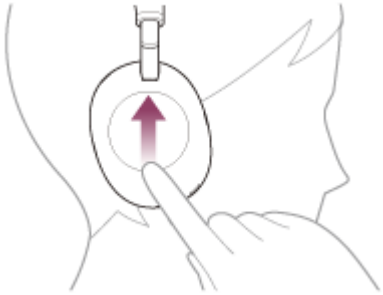
音楽再生時：次の曲の頭出しをします。早送りをするには、前にすべらせて触れたまま止め、再生したい位置に来たら指を離します。

- 後ろにすべらせて離す



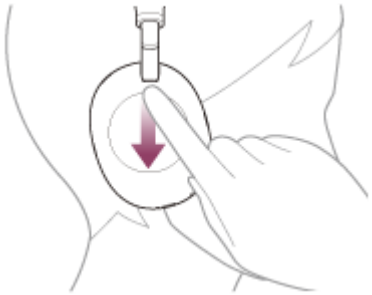
音楽再生時：前（または再生中）の曲の頭出しをします。早戻しするには後ろにすべらせて触れたまま止め、再生したい位置に来たら指を離します。

- 上にすべらせて離す



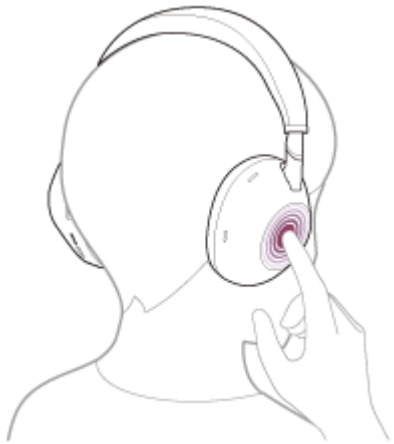
音楽再生時／通話時：音量を上げます。お好みの音量になるまで繰り返してください。音量を連続して変えるには、上にすべらせて触れたまま指を止め、お好みの音量になったら指を離します。

- 下にすべらせて離す



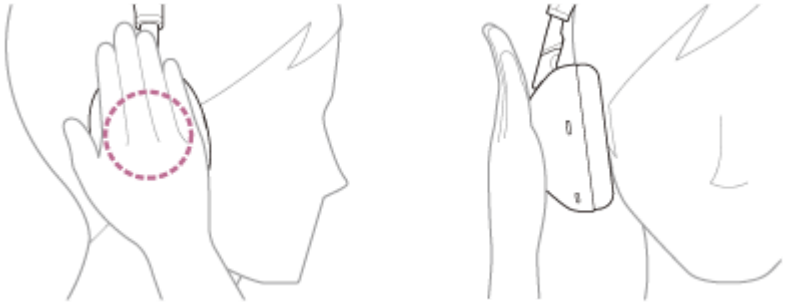
音楽再生時／通話時：音量を下げます。お好みの音量になるまで繰り返してください。音量を連続して変えるには、下にすべらせて触れたまま指を止め、お好みの音量になったら指を離します。

- 触れたままにする



音声アシスト機能時：音声入力を開始します。音声入力を終了するには、指を離します。

- タッチセンサーコントロールパネル全体を手で触れる



クイックアテンションモードを使用します。クイックアテンションモードを終了するには、手を離します。

ヒント

- “Sony | Sound Connect”アプリを使用すると、タッチセンサーコントロールパネルのオン／オフの切り替えができます。

ご注意

- 通信状態が悪いと、ヘッドセットの操作に対してBluetooth機器が誤動作する場合があります。
- 接続する機器、使用する音楽ソフトやアプリによって利用できる機能が異なります。上記の操作をしても異なる動作をしたり、動作しない場合があります。
- 誤動作を防止するため、ヘッドセットを取り外すと、タッチセンサーコントロールパネルをタップしても音楽再生や通話などの操作はできません。

関連項目

- “Sony | Sound Connect”アプリでできること
- 音楽再生時にできること（Bluetooth接続）
- 通話時にできること
- ヘッドセットを装着する
- Google アシスタントを使う
- 音声アシスト機能（Siri）を使う
- すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）
- 電話を受ける
- 電話をかける

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

Quick Access（クイックアクセス）を使う

Quick Accessは、ヘッドセットのボタンを押すだけで、対応するアプリでコンテンツを再生することができる機能です。

1. **ヘッドセットを耳に装着する。**

   ヘッドセットを耳に装着する手順は、「ヘッドセットを装着する」をご覧ください。

2. **スマートフォンとBluetooth接続する。**

3. **“Sony | Sound Connect”アプリを起動し、NC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタンの機能をQuick Accessに変更する。**

4. **“Sony | Sound Connect”アプリで、NC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタンを2回または3回押したときに実行するサービスを割り当てる。**

   NC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタンを2回または3回押したときに、あらかじめ設定しておいたサービスを実行できます。
   NC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタンを2回押して実行する機能を［[NC/AMB] ボタンを2回押す］に、ボタンを3回押して実行する機能を［[NC/AMB] ボタンを3回押す］に設定します。

5. **Quick Accessに割り当てたサービスのアプリを起動する。**

6. **NC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタンを2回または3回押してQuick Accessを使う。**

   あらかじめ設定しておいたサービスを実行できます。

ヒント

- Quick Accessを使うには、対応するスマートフォンアプリのインストールとインターネット接続が必要です。アプリによってはサインインが必要です。
- 最新のQuick Accessの仕様について詳しくは、“Sony | Sound Connect”アプリをご覧ください。

ご注意

- 国や地域によってQuick Accessに割り当てることができるサービスが異なります。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

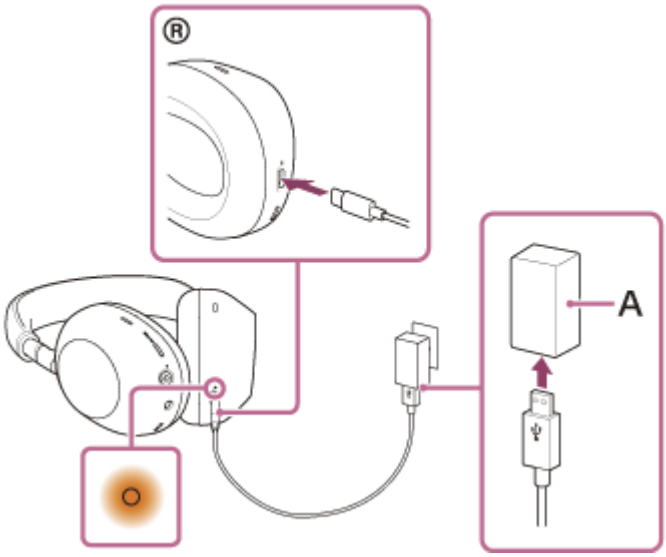
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

ヘッドセットを充電する

ヘッドセットは充電式リチウムイオン電池を内蔵しています。付属のUSB Type-Cケーブルを使って充電してからお使いください。

1 ヘッドセットを電源コンセントに接続する。

付属のUSB Type-Cケーブルと別売のUSB ACアダプター（推奨：AC-UD20）（A）を使用します。



- ヘッドセットの充電ランプ（オレンジ）が点灯します。
- 充電は、約3.5時間*で完了し、充電ランプは自動的に消灯します。

* 充電式電池の残量がない状態から、満充電するのにかかる時間です。使用条件により変わる場合があります。

充電が終了したら、USB Type-Cケーブルを外してください。

ヘッドセットを使用しながらの充電について

充電中でもヘッドセットを使用することができます。
ヘッドセットを使用しながら充電した場合、約80%で充電を停止します（電池残量が約80%以上ある場合、充電されません）。数値は目安です。周囲環境により変わる場合があります。
充電環境（使用する電源やUSB ACアダプターの種類等）によっては、充電の際に発生する電気的なノイズがヘッドセットから聞こえる場合があります。
また、ヘッドセットの機能や操作が正常に動作しない場合があります。

USB Type-CケーブルやUSB Type-C端子に水や汗などの液体やほこりなどの異物が付着した状態での充電は、火災・感電・発熱・発火によるやけどや大けがなどの人身事故の原因となったり、故障の原因となります。充電しながらのご使用については、以下にご注意ください。

- 異常を感じたらすぐに使用を中止してください。
- ほこりがたまっていないか、異物が入っていないかなどを点検してください。
- 充電中に飲料水や汗などの液体がかかり、USB Type-CケーブルやUSB Type-C端子が濡れた際は、すぐにUSB Type-Cケーブルを接続機器から抜き、充電を中止してください。



充電端子の水濡れ検出について

ヘッドセットのソフトウェアのバージョンが Ver. 2.0.0以上で利用可能です。
ヘッドセットのUSB Type-C端子に水滴や異物が付着しているなど異常を検出した際に、音声ガイダンスと“Sony | Sound Connect”アプリ上で異常を検出したことをお知らせします。
異常を検出している間は充電器を差さないでください。
以下にご注意ください。

- USB Type-C端子に異物が付着していないかご確認ください。
- 端子部に水滴が付着している場合、完全に乾いてから充電を行ってください。
- 端子部に異物の付着を確認した場合、エアダスターなどで端子に傷をつけないよう除去してから充電をお試しください。

USB充電の推奨環境

推奨のUSB ACアダプター

AC-UD20（別売）

市販のUSB ACアダプター

出力電流1.5 A以上が供給可能な市販のUSB ACアダプター

市販のUSB PD（USB Power Delivery）対応ACアダプター

出力が5 V/2 Aまたは9 V/3 Aに対応したものをお使いになることをおすすめします。
USB PD対応すべての機器との動作を保証するものではありません。

パソコン

USB端子が標準装備されたパソコン

- すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。
- 自作パソコンは動作保証対象外です。

ヒント

- 付属のUSB Type-Cケーブルを使ってヘッドセットを起動中のパソコンに接続しても充電できます。

ご注意

- 電源がオンのときは満充電されません。
- 付属のUSB Type-Cケーブル以外では、充電できない場合があります。
- 付属のUSB Type-Cケーブル以外では、水濡れを検出する機能が誤作動する可能性があります。
- USB ACアダプターの機種によっては、充電できない場合があります。
- パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になると充電できなくなります。この場合はパソコンの設定を変更して、充電し直してください。

- 長い間使わなかったときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。充電と放電を何度か繰り返すと、充分に充電できるようになります。長期にわたって保存する場合は、過放電防止のため、半年に1回程度の充電を行ってください。
- 長い間使わなかったときは、充電時間が長くかかる場合があります。
- ヘッドセットは以下の原因などにより、充電中に異常を検知すると充電ランプ（オレンジ）が点滅します。この場合、もう一度充電温度範囲で充電を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
  - 充電温度範囲（5 ℃～35 ℃）を超える場合
  - 充電式電池に問題がある場合
- ヘッドセットを長期間お使いにならなかった後に充電を行った場合、充電ランプ（オレンジ）がすぐに点灯しない場合があります。ランプが点灯するまでしばらくお待ちください。
- 電池の持続時間が極端に短くなった場合は、充電式電池の交換時期です。ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
- 急激な温度変化や、直射日光、霧、砂、ほこりや電気的な衝撃を避けてください。また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。
- ヘッドセットをパソコンと接続するときは付属のUSB Type-Cケーブルのみを使い、必ず直接接続してください。USBハブなどを経由してヘッドセットを接続すると、正しく充電されません。
- USB PD対応すべての機器との動作を保証するものではありません。
- USB PD対応のACアダプターで充電を行った場合、右ユニットが熱くなることがありますが、故障ではありません。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

使用可能時間

満充電時の使用可能時間は以下の通りです。

Bluetooth接続

連続音楽再生

コーデック	ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
LDAC™	ノイズキャンセリング機能：オン	最大26時間
LDAC	外音取り込み機能：オン	最大26時間
LDAC	オフ	最大36時間
AAC	ノイズキャンセリング機能：オン	最大30時間
AAC	外音取り込み機能：オン	最大30時間
AAC	オフ	最大40時間
SBC	ノイズキャンセリング機能：オン	最大30時間
SBC	外音取り込み機能：オン	最大30時間
SBC	オフ	最大40時間
LC3	ノイズキャンセリング機能：オン	最大30時間
LC3	外音取り込み機能：オン	最大30時間
LC3	オフ	最大40時間

- 出力が5 V / 1.5 A以上の市販のUSB ACアダプター使用をした場合は、充電3分間で約1時間*の音楽再生が可能です。
- 出力が9 V / 2.3 A以上の市販のUSB PD対応ACアダプターを使用した場合は、充電3分間で約3時間*の音楽再生が可能です。

* 周囲の温度が25℃～35℃で使用した場合の時間です。使用条件により変わる場合があります。

連続通話

ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
ノイズキャンセリング機能：オン	最大24時間
外音取り込み機能：オン	最大24時間
オフ	最大28時間

ヘッドホンケーブル接続 電源オン時

ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
ノイズキャンセリング機能：オン	最大28時間
外音取り込み機能：オン	最大28時間
オフ	最大38時間

ヒント

- “Sony | Sound Connect”アプリを使用すると、接続しているコーデックの確認やDSEE Extreme™の切り替えができます。

ご注意

- 各種機能の設定や使用条件により、上記と実際の時間が異なる場合があります。
- 以下の設定を行うと、電池の使用可能時間が上記より短くなります。
  - イコライザー
  - DSEE Extreme
  - スピーク・トゥ・チャット
  - サービスとの連携
  - その他、初期設定から“Sony | Sound Connect”アプリで設定を行う各モード・機能

  上記の設定を同時に行うと、電池の使用可能時間はさらに短くなります。

関連項目

- 対応コーデックについて
- DSEE Extremeについて
- “Sony | Sound Connect”アプリでできること

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

充電式電池の残量を確認する

以下の方法で充電式電池の残量を確認することができます。

iPhone（iOS 13以降）をお使いの場合

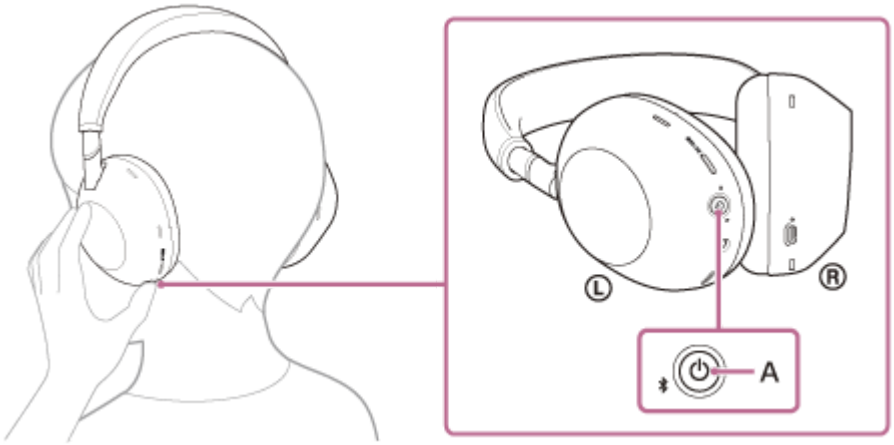
iPhoneとHFP（Hands-free Profile）でBluetooth接続している間は、iPhoneでヘッドセットの充電式電池の残量を確認できます。詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。
なお、表示される残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

Android™搭載スマートフォン（OS 8.1以降）をお使いの場合

Android搭載スマートフォンとHFPでBluetooth接続している間は、スマートフォンでヘッドセットの充電式電池の残量を確認できます。詳しくはAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
なお、表示される残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

電源ボタンで確認する

ヘッドセットの電源が入っている状態で ⏻ （電源）ボタン（A）を押すと、充電式電池の残量を示す音声ガイダンスが流れます。



「バッテリー約XX%」（「XX」の数値は大まかな残量を示します。）
音声ガイダンスが示す充電式電池の残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。
また、ヘッドセットの電源を入れたときに、充電式電池の残量が10%以下の場合はランプ（オレンジ）が約15秒間点滅します。

音声ガイダンスでの通知

警告音が鳴り、動作中のランプ表示（青）がオレンジ色に変わります。音声ガイダンス「バッテリーが少なくなりました」が流れたら、早めに充電してください。
残量が完全になくなると、警告音が鳴り、音声ガイダンス「バッテリーがなくなりました」が流れて、ヘッドセットの電源が自動的に切れます。

ヒント

- ヘッドセットの充電式電池の残量は“Sony | Sound Connect”アプリ上でも確認できます。Android搭載スマートフォン、iPhoneとも対応しています。

ご注意

- スマートフォンとHFPで接続されていないと、充電式電池の残量が正常に表示されません。
- マルチポイント接続でiPhoneまたはAndroid搭載スマートフォンを音楽用（A2DP）のみの接続にすると、充電式電池の残量が正常に表示されません。
- 長い間使わなかったときや、ソフトウェアアップデートの直後などは、充電式電池の残量が正しく表示されないことがあります。この場合は、充電と放電を何度か繰り返すと正しく表示されます。

関連項目

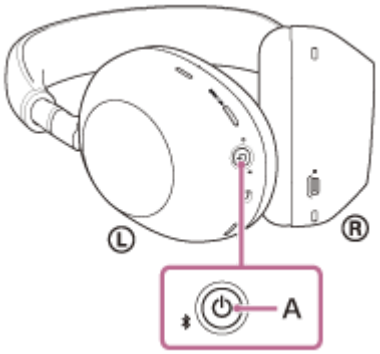
- ランプ表示
- “Sony | Sound Connect”アプリでできること

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

ヘッドセットの電源を入れる

1 ランプ（青）が点滅するまで、 （電源）ボタン（A）を約2秒以上押したままにする。



関連項目

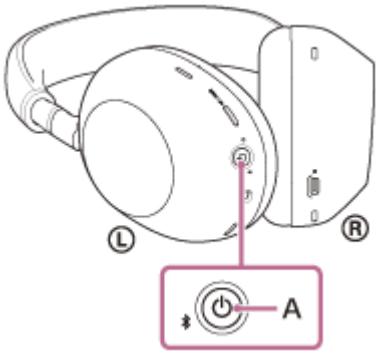
- ヘッドセットの電源を切る

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

ヘッドセットの電源を切る

1 ランプ（青）が消灯するまで、 （電源）ボタン（A）を約2秒以上押したままにする。



ヒント

- “Sony | Sound Connect”アプリからヘッドセットの電源を切ることもできます。
- ヘッドセットを装着しないまま15分経過すると、自動的にヘッドセットの電源が切れます。“Sony | Sound Connect”アプリを使うと、この設定を変更できます。
- ヘッドセットをカバンなどに収納するときは、電源を切ってください。装着検出が誤動作する場合があります。

関連項目

- ヘッドセットの電源を入れる
- “Sony | Sound Connect”アプリでできること

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

Bluetooth接続をするには

Bluetooth機器に搭載されたBluetooth機能を使って音楽や通話をワイヤレスで楽しめます。

機器登録（ペアリング）

Bluetooth機能を使うには、あらかじめ、接続する互いの機器を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。
ヘッドセットと機器を操作してペアリングを行ってください。

ペアリング済みの機器と接続する

一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありません。すでにヘッドセットとのペアリングが済んでいる機器については、それぞれの機器の操作方法に従って接続してください。

ペアリングや接続の操作について詳しくは、下記関連項目からご覧ください。

関連項目

- Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する
- iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する
- ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する
- ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 11）
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）
- Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する
- 機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する
- 機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する
- 機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する
- 機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 11）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する （Mac）
- 機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

“Sony | Sound Connect”アプリを使って接続する

お使いのAndroid搭載スマートフォン／iPhoneで“Sony | Sound Connect”アプリを起動して、ヘッドセットとスマートフォンやiPhoneを接続できます。

Sony Sound Connect

ご注意

- “Sony | Sound Connect”アプリを使って接続したときに、一部のスマートフォンやiPhoneで接続が不安定になる場合があります。その場合は「機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する」「機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する」の手順に従って接続してください。

関連項目

- Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する
- iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 11）
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）
- 機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する
- 機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する
- “Sony | Sound Connect”アプリでできること
- “Sony | Sound Connect”アプリをインストールする

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

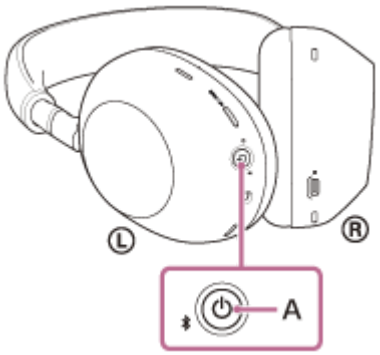
Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

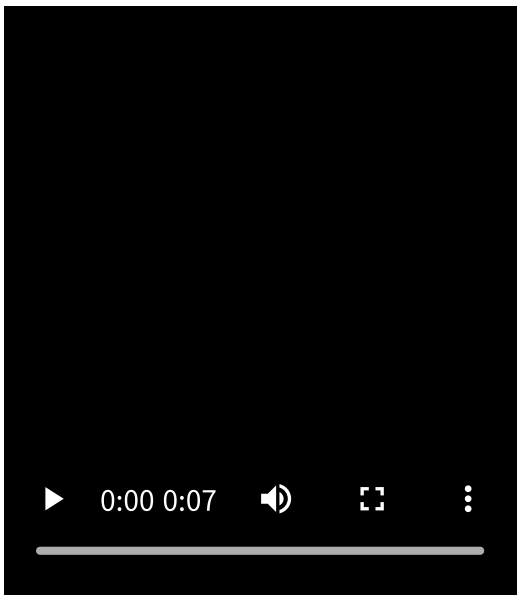
- ヘッドセットとAndroid搭載スマートフォンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的にペアリングモードになります。この場合は、手順2に進んでください。
ヘッドセットに2台目以降のBluetooth機器をペアリングするとき（ヘッドセットにすでに他のペアリング情報がある場合）は、 （Bluetooth）ボタン（A）を約5秒以上押したままにして、手動でペアリングモードにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



2 Android搭載スマートフォンの画面をロックしている場合は、解除する。

3 **Android搭載スマートフォンの画面で、［設定］から［機器接続］の［Bluetooth］を選ぶ。**



4 **スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。**



5 **［WH-1000XM6］をタッチする。**



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとAndroid搭載スマートフォンが接続された状態になります。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する」をご覧ください。
Android搭載スマートフォンの画面に［WH-1000XM6］が表示されない場合は、もう一度手順3から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングす

ると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
- 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
- ヘッドセットを初期化したとき
  すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。

- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- 機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する

LE AudioはBluetooth技術の音声通信規格です。
LE Audioでの接続は低遅延を優先するため、Classic Audioでの接続に比べて接続の安定性が悪化します。電波環境が悪く、音途切れする場合はClassic Audioで接続し直してください。
Android搭載スマートフォンとヘッドセットの両方がLE Audioに対応している必要があります。

- LE Audio接続する場合は、LE Audio対応のスマートフォンに“Sony | Sound Connect”アプリをインストールして接続してください。
- ヘッドセットのソフトウェアと“Sony | Sound Connect” アプリのバージョンは最新のものをご使用ください。

LE Audio対応機器

最新の対応機種情報は、サポートホームページをご覧ください。

LE Audioについて

- LE Audioはコーデック「LC3」に対応しています。LE Audioで接続すると、Android搭載スマートフォンからの音の遅延を抑えて音声を楽しむことができます。
- LE Audioで接続しているときは、ヘッドセットの機能の一部が使えなくなります。詳しくは、「“Sony | Sound Connect”アプリでできること」をご覧ください。

1. **Android搭載スマートフォンに“Sony | Sound Connect”アプリをインストールし、ヘッドセットとBluetooth接続する。**

   Bluetooth接続の方法については、「“Sony | Sound Connect”アプリを使って接続する」または「 Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する」をご覧ください。

2. **“Sony | Sound Connect”アプリで設定する。**

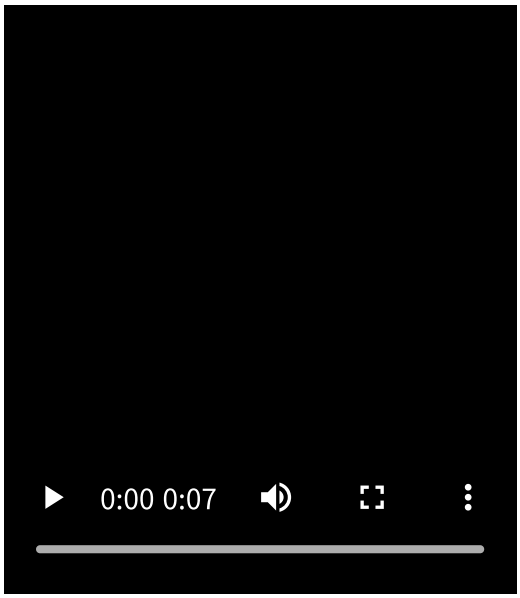
   - Xperia 1 IV／5 IVの場合
     “Sony | Sound Connect”アプリを起動して、［ヘッドホンの接続設定］から［LE Audio優先］を選んでください。
   - Xperia 1 IV／5 IV以外の場合
     “Sony | Sound Connect”アプリを起動して、［Bluetooth 接続品質］から［低遅延］を選んでください。

3. **Android搭載スマートフォンで、［設定］から［機器接続］の［Bluetooth］を選ぶ。**

4. **［ペアリングされた機器］から［WH-1000XM6］を選んでペアリング情報（Classic Audio接続の履歴）を削除する。**

5. **ヘッドセットの ⏻ （電源）ボタンを約5秒間押したままにして、手動でペアリングモードにする。**

   ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



6 **Android搭載スマートフォンで、［設定］から［機器接続］を選び、Bluetooth設定の画面を開く。**

7 **［新しい機器とペア設定する］ を選ぶ。**

8 **［使用可能なデバイス］ から、［WH-1000XM6］を選ぶ。**

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとAndroid搭載スマートフォンが接続された状態になります。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

9 **接続中の［WH-1000XM6］の横に表示されている （設定）をタッチする。**

10 **［LE Audio］がオンになっているか確認する。**

オフになっている場合はスイッチボタンをタッチして［LE Audio］をオンにしてください。

11 **“Sony | Sound Connect”アプリの画面で、ヘッドセット名の下に［LE Audio］が表示されていることを確認する。**

LE Audioを終了するには

Android搭載スマートフォンとClassic Audioで接続し直します。

- Xperia 1 IV／5 IVの場合
  “Sony | Sound Connect”アプリを起動して、［ヘッドホンの接続設定］から［Classic Audio専用（従来の接続方式）］を選んでください。
- Xperia 1 IV／5 IV以外の場合
  “Sony | Sound Connect”アプリを起動して、［Bluetooth 接続品質］から［音質優先］または ［接続優先］を選んでください。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- LE Audioで接続中に音途切れしやすいなど接続が不安定な場合は、Classic Audioで接続し直しください。
- GMAP（Gaming Audio Profile）で接続するには
  - GMAPは、ゲームに最適な超低遅延を実現するLE Audioのプロファイルの一つです。
    LE Audio接続中にGMAPに対応しているゲームアプリを立ち上げた際、自動的にプロファイルが切り替わります。

GMAPで接続するには、スマートフォンがGMAPに対応している必要があります。対応状況については、お使いのスマートフォンの説明書をご覧ください。

関連項目

- ヘッドセットを充電する
- Bluetooth接続をするには
- 機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

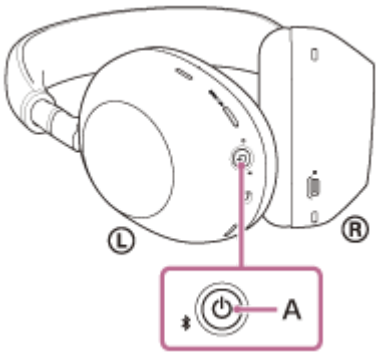
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する

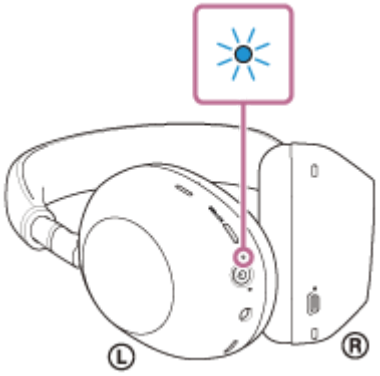
1 Android搭載スマートフォンの画面をロックしている場合は、解除する。

2 ヘッドセットの電源を入れる。

（電源）ボタン（A）を約2秒以上押したままにします。



電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離したあともランプ（青）が点滅します。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
Android搭載スマートフォンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順3に進んでください。

3 Android搭載スマートフォンの画面で、［設定］から［機器接続］の［Bluetooth］を選ぶ。



4 スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



5 **［WH-1000XM6］をタッチする。**



接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に［WH-1000XM6］［LE_WH-1000XM6］の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または［WH-1000XM6］が表示される場合は［WH-1000XM6］を、［LE_WH-1000XM6］が表示される場合は［LE_WH-1000XM6］を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- Android搭載スマートフォンと接続できなくなった場合は、スマートフォンでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングし直してください。Android搭載スマートフォンの操作については、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

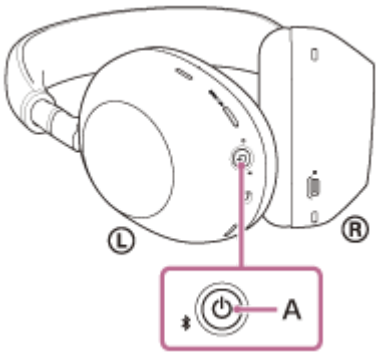
iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

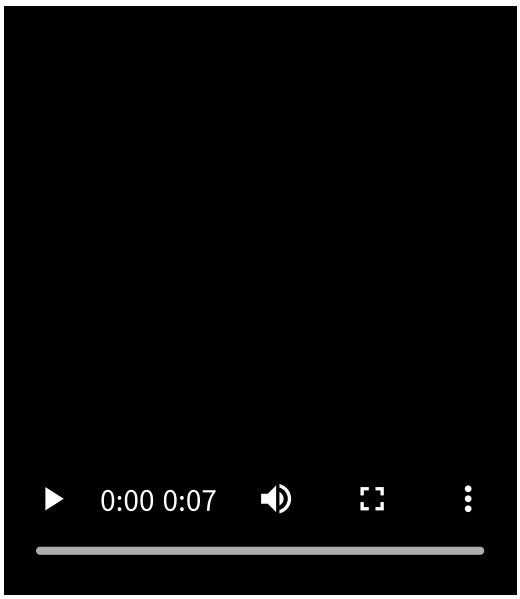
- ヘッドセットとiPhoneが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するiPhoneの取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的にペアリングモードになります。この場合は、手順2に進んでください。
ヘッドセットに2台目以降のBluetooth機器をペアリングするとき（ヘッドセットにすでに他のペアリング情報がある場合）は、 （Bluetooth）ボタン（A）を約5秒以上押したままにして、手動でペアリングモードにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



2 iPhoneの画面をロックしている場合は、解除する。

3 **iPhoneの画面で、［設定］の［Bluetooth］をタッチする。**



4 **スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。**



5 **［WH-1000XM6］をタッチする。**



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとiPhoneが接続された状態になります。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する」をご覧ください。
iPhoneの画面に［WH-1000XM6］が表示されない場合は、もう一度手順3から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのiPhoneの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
  - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
  - ヘッドセットを初期化したとき
    すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、

もう一度ペアリングをしてください。

- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- 機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

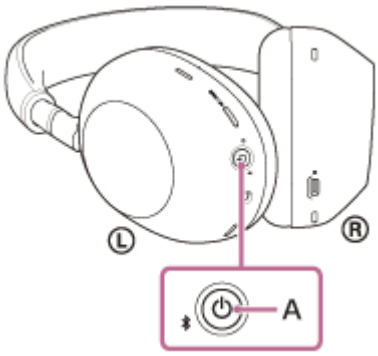
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する

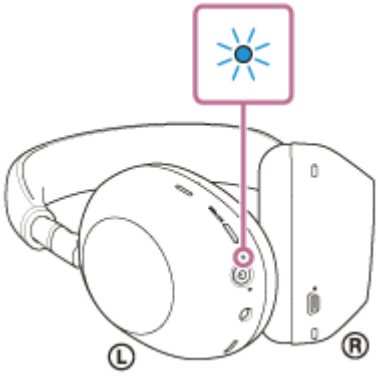
1 iPhoneの画面をロックしている場合は、解除する。

2 ヘッドセットの電源を入れる。

（電源）ボタン（A）を約2秒以上押したままにします。



電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離したあともランプ（青）が点滅します。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
iPhoneで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順3に進んでください。

3 iPhoneの画面で、［設定］の［Bluetooth］をタッチする。



4 スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



5 **［WH-1000XM6］をタッチする。**



接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのiPhoneの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に［WH-1000XM6］［LE_WH-1000XM6］の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または［WH-1000XM6］が表示される場合は［WH-1000XM6］を、［LE_WH-1000XM6］が表示される場合は［LE_WH-1000XM6］を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- iPhoneと接続できなくなった場合は、iPhoneでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングし直してください。iPhoneの操作については、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

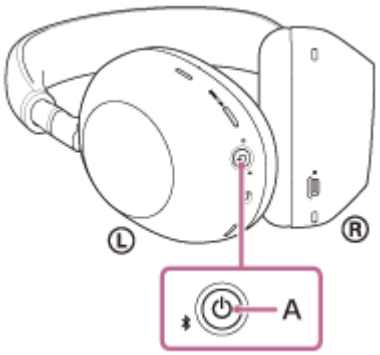
ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

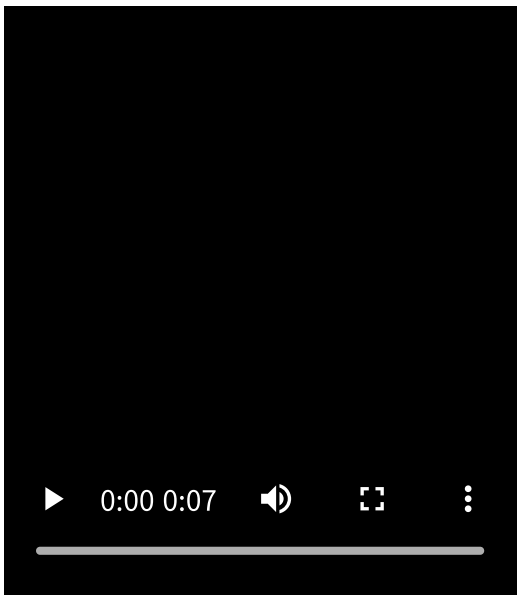
- ヘッドセットとウォークマン®が1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するウォークマン®の取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的にペアリングモードになります。この場合は、手順2に進んでください。
ヘッドセットに2台目以降のBluetooth機器をペアリングするとき（ヘッドセットにすでに他のペアリング情報がある場合）は、 （Bluetooth）ボタン（A）を約5秒以上押したままにして、手動でペアリングモードにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



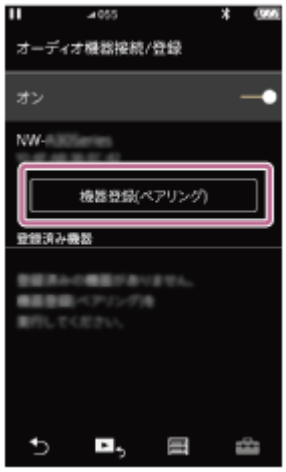
2 ウォークマン®の画面をロックしている場合は、解除する。

3 **ライブラリ画面から［（オプション／設定）］–［設定］–［Bluetooth］–［オーディオ機器接続／登録］の順に選ぶ。**

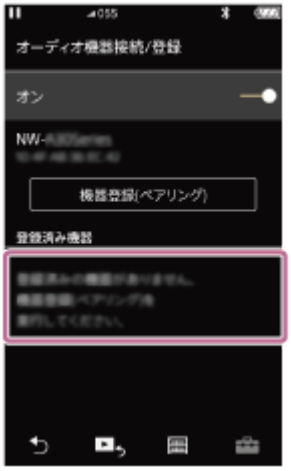
4 **［オン］になっていることを確認する。**



5 **［機器登録（ペアリング）］を選ぶ。**



6 **WH-1000XM6を選ぶ。**



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとウォークマン®が接続された状態になります。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する」をご覧ください。
ウォークマン®の画面に［WH-1000XM6］が表示されない場合は、もう一度手順3から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
  - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
  - ヘッドセットを初期化したとき
    すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- 機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

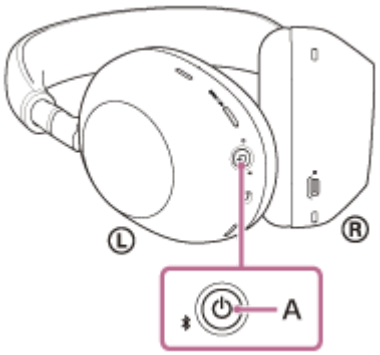
ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

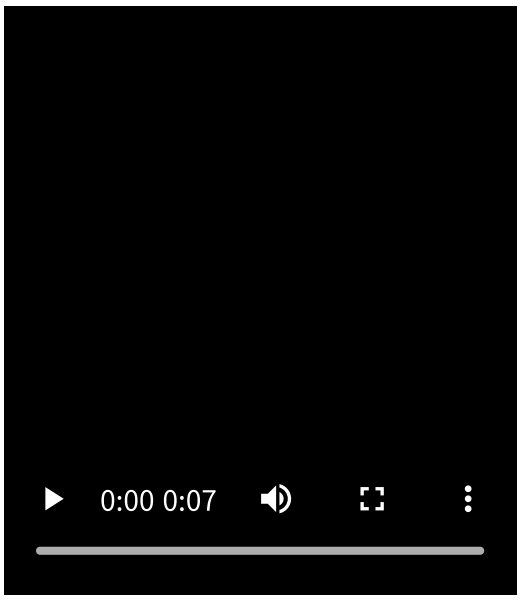
- ヘッドセットとウォークマン®が1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するウォークマン®の取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的にペアリングモードになります。この場合は、手順2に進んでください。
ヘッドセットに2台目以降のBluetooth機器をペアリングするとき（ヘッドセットにすでに他のペアリング情報がある場合）は、 （Bluetooth）ボタン（A）を約5秒以上押したままにして、手動でペアリングモードにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



2 ウォークマン®の画面をロックしている場合は、解除する。

3 **ウォークマン®の画面で、［ 設定］–［接続済みの端末］–［新しいデバイスとペア設定する］を選ぶ。**



4 **［WH-1000XM6］をタッチして、［ペア設定する］を選ぶ。**



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとウォークマン®が接続された状態になります。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）」をご覧ください。
ウォークマン®の画面に［WH-1000XM6］が表示されない場合は、もう一度手順3から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
  - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
  - ヘッドセットを初期化したとき
    すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- Bluetooth接続をするには

- 機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

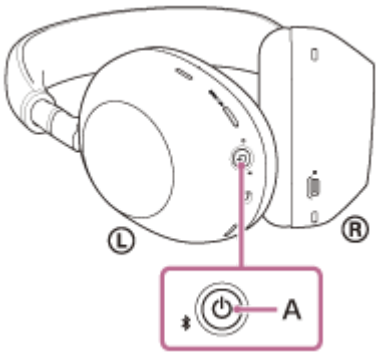
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する

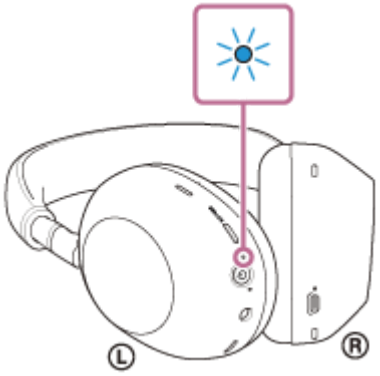
1 ウォークマン®の画面をロックしている場合は、解除する。

2 ヘッドセットの電源を入れる。

（電源）ボタン（A）を約2秒以上押したままにします。



電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離したあともランプ（青）が点滅します。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
ウォークマン®で接続状態を確認してください。接続されていないときは手順3に進んでください。

3 ライブラリ画面から［ （オプション／設定）］–［ 設定］–［Bluetooth］–［オーディオ機器接続／登録］の順に選ぶ。

4 ［オン］になっていることを確認する。



5 **［WH-1000XM6］を選ぶ。**



接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に［WH-1000XM6］［LE_WH-1000XM6］の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または［WH-1000XM6］が表示される場合は［WH-1000XM6］を、［LE_WH-1000XM6］が表示される場合は［LE_WH-1000XM6］を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- ウォークマン®と接続できなくなった場合は、ウォークマン®でヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングし直してください。ウォークマン®の操作については、ウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

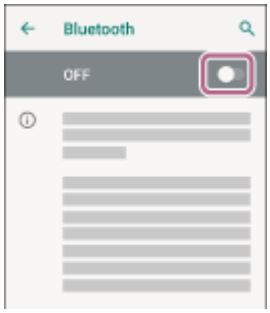
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）

1 ウォークマン®の画面をロックしている場合は、解除する。

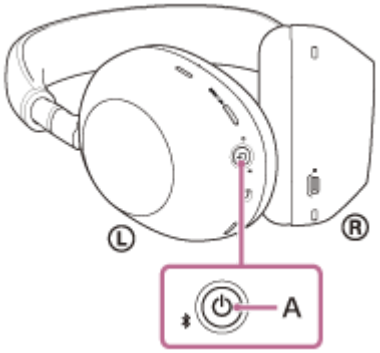
2 ウォークマン®の画面で、［ 設定］–［接続済みの端末］–［接続の設定］–［Bluetooth］を選ぶ。

3 スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。

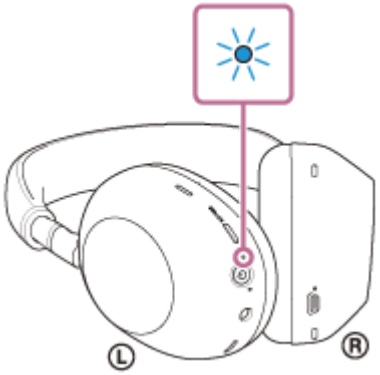


4 ヘッドセットの電源を入れる。

（電源）ボタン（A）を約2秒以上押したままにします。



電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離したあともランプ（青）が点滅します。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
ウォークマン®で接続状態を確認してください。接続されていないときは手順5に進んでください。

5 **ウォークマン®の画面で、［ 設定］–［接続済みの端末］–［以前接続されていたデバイス］を選ぶ。**



6 **［WH-1000XM6］の横にある （設定）アイコンをタッチして［接続］を選ぶ。**



接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に［WH-1000XM6］［LE_WH-1000XM6］の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または［WH-1000XM6］が表示される場合は［WH-1000XM6］を、［LE_WH-1000XM6］が表示される場合は［LE_WH-1000XM6］を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- ウォークマン®と接続できなくなった場合は、ウォークマン®でヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングし直してください。ウォークマン®の操作については、ウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

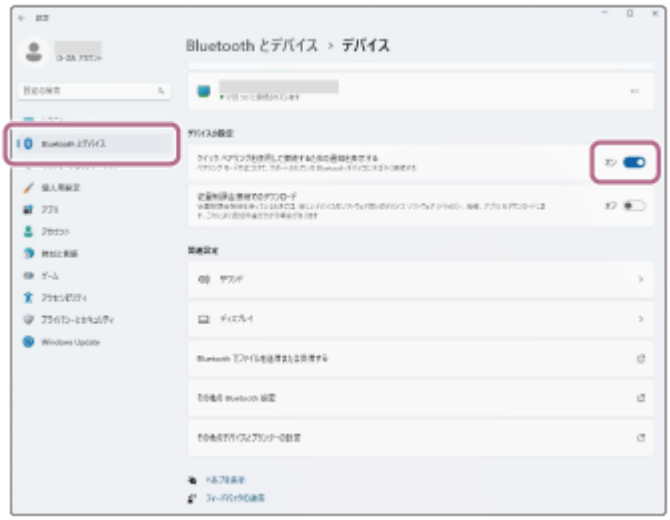
5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 11）

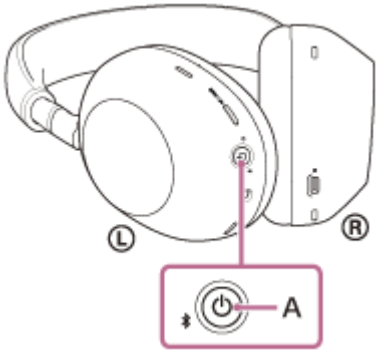
接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- パソコンのビデオ通話用アプリを使用する場合は、パソコンに通話の接続（HFP/HSP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- クイックペアリング機能を使ってかんたんにペアリングできます。クイックペアリング機能を使用する場合は、［スタート］ボタン - ［設定］ - ［Bluetoothとデバイス］ - ［クイック ペアリングを使用して接続するための通知を表示する］スイッチの順にクリックして、クイックペアリング機能をオンにしてください。

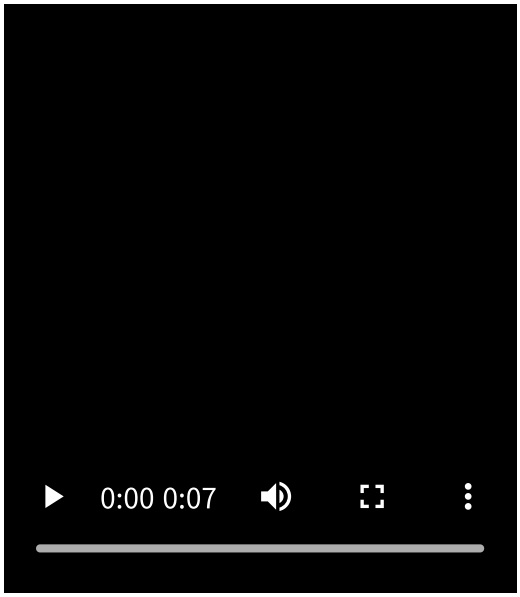


1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的にペアリングモードになります。この場合は、手順2に進んでください。
ヘッドセットに2台目以降のBluetooth機器をペアリングするとき（ヘッドセットにすでに他のペアリング情報がある場合）は、 （Bluetooth）ボタン（A）を約5秒以上押したままにして、手動でペアリングモードにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



2 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

クイックペアリング機能を使用する場合は、手順3に進んでください。
クイックペアリング機能を使用せずに接続する場合は、手順4から手順8に進んでください。

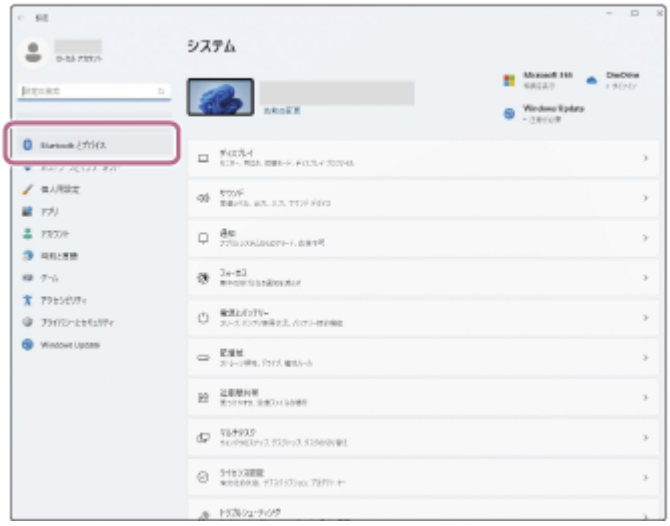
**3 （手順2で「クイックペアリング機能を使用する場合」を選んだときは）
パソコンの画面にポップアップメニューが表示されるので、［接続］を選ぶ。**



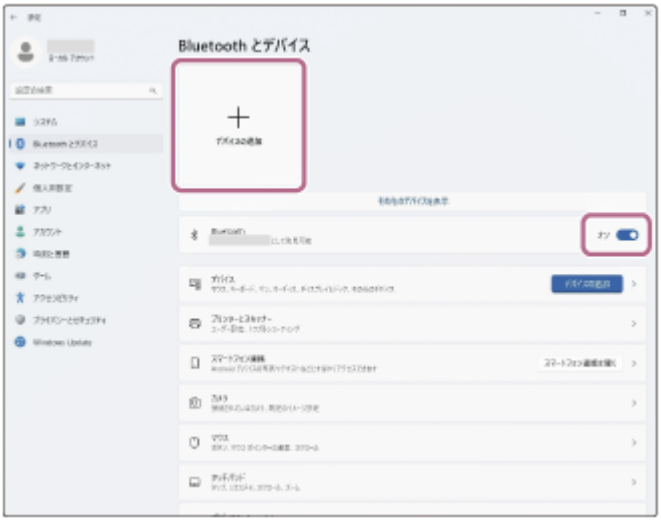
接続が完了します。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

**4 （手順2で「クイックペアリング機能を使用せずに接続する場合」を選んだときは）
パソコンの画面で、［スタート］ボタン –［設定］の順にクリックする。**

5 ［Bluetoothとデバイス］をクリックする。



6 ［Bluetooth］スイッチをクリックしてBluetooth機能をオンにし、［デバイスの追加］をクリックする。



7 ［Bluetooth］をクリックする。



8 ［WH-1000XM6］をクリックする。



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 11）」をご覧ください。
パソコンの画面に［WH-1000XM6］が表示されない場合は、もう一度手順4から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
  - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
  - ヘッドセットを初期化したとき
    すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 11）
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- パソコンでビデオ通話する
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

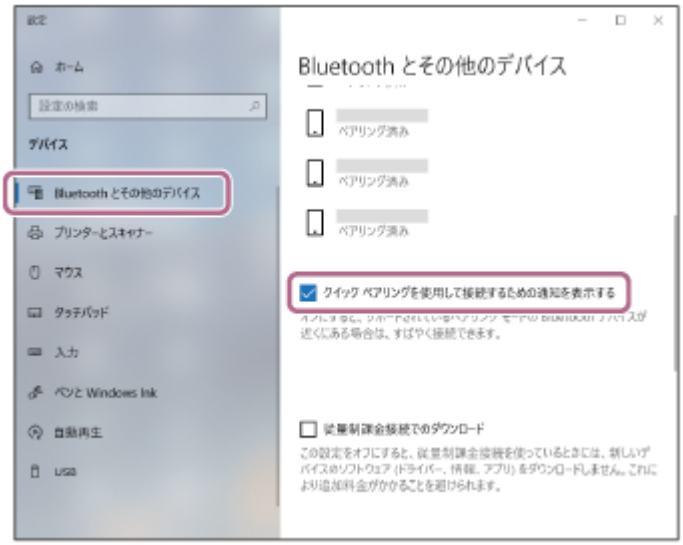
5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）

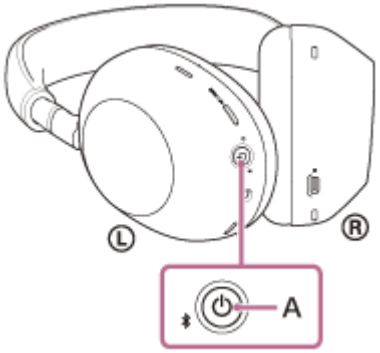
接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- パソコンのビデオ通話用アプリを使用する場合は、パソコンに通話の接続（HFP/HSP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- お使いのOSのバージョンがWindows 10バージョン1803以降の場合、クイックペアリング機能を使ってかんたんにペアリングできます。クイックペアリング機能を使用する場合は、［スタート］ボタン -［設定］ -［デバイス］ -［Bluetoothとその他のデバイス］の順にクリックし、［クイック ペアリングを使用して接続するための通知を表示する］にチェックを入れてください。

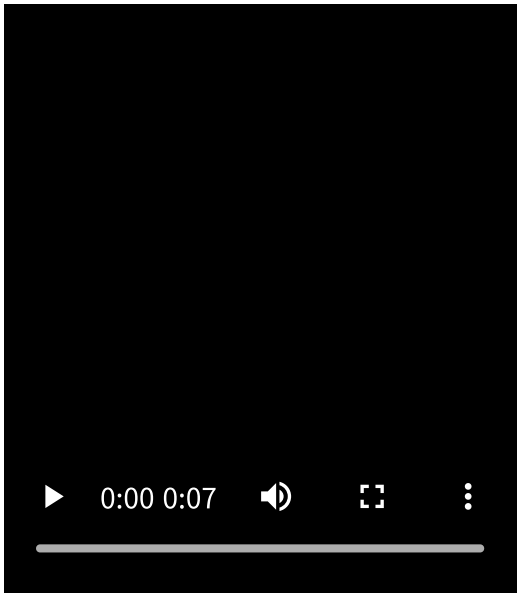


1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的にペアリングモードになります。この場合は、手順2に進んでください。
ヘッドセットに2台目以降のBluetooth機器をペアリングするとき（ヘッドセットにすでに他のペアリング情報がある場合）は、 （Bluetooth）ボタン（A）を約5秒以上押したままにして、手動でペアリングモードにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



2 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

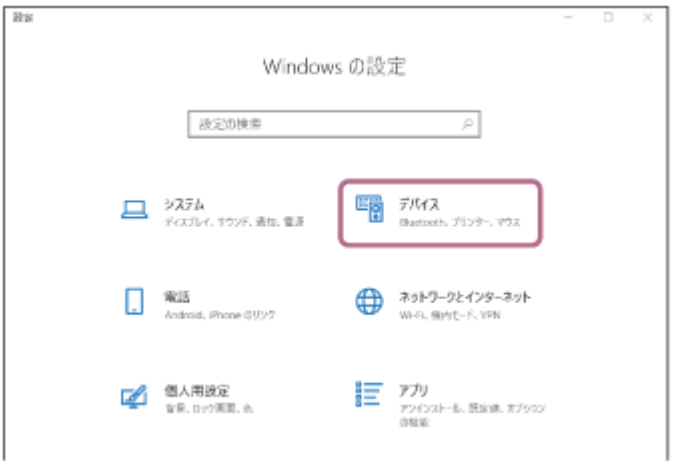
クイックペアリング機能を使用する場合は、手順3に進んでください。
クイックペアリング機能を使用せずに接続する場合は、手順4から手順7に進んでください。

**3 （手順2で「クイックペアリング機能を使用する場合」を選んだときは）
パソコンの画面にポップアップメニューが表示されるので、［接続］を選ぶ。**



接続が完了します。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

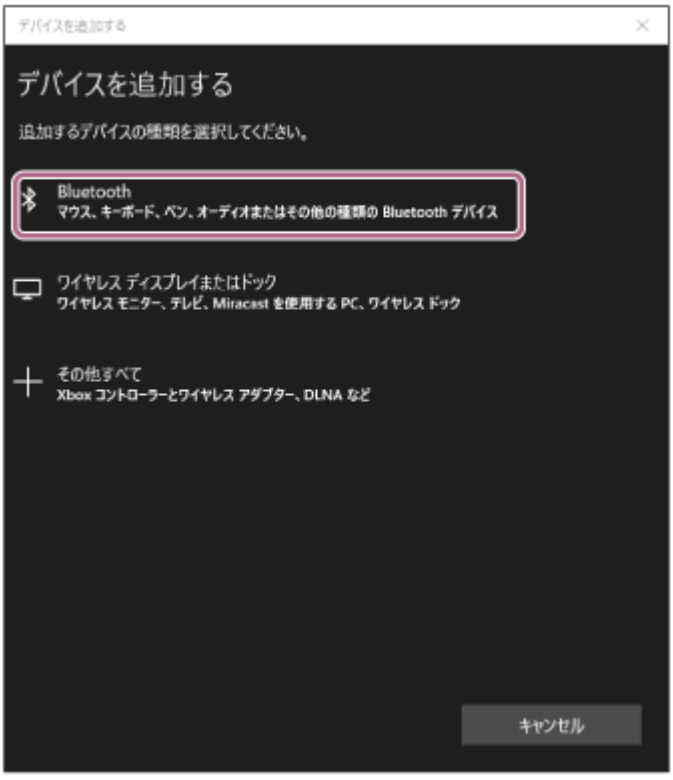
4 **（手順2で「クイックペアリング機能を使用せずに接続する場合」を選んだときは）**
パソコンの画面で、［スタート］ボタン –［設定］–［デバイス］の順にクリックする。



5 **［Bluetoothとその他のデバイス］タブ - ［Bluetooth］スイッチの順にクリックしてBluetooth機能をオンにし、［Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する］をクリックする。**



6 **［Bluetooth］をクリックする。**



7 **［WH-1000XM6］をクリックする。**



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）」をご覧ください。
パソコンの画面に［WH-1000XM6］が表示されない場合は、もう一度手順4から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
  - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
  - ヘッドセットを初期化したとき
    すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- パソコンでビデオ通話する
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

対応OS

macOS（バージョン11以降）

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

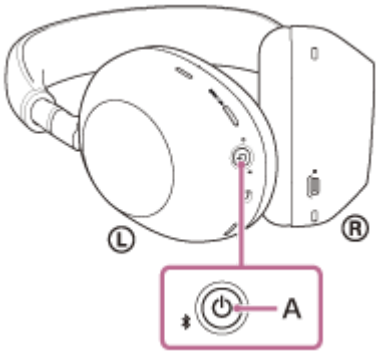
- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- パソコンのビデオ通話用アプリを使用する場合は、パソコンに通話の接続（HFP/HSP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのスピーカーをONモードに設定する。
  パソコンのスピーカーが 「消音（OFF）」モードになっていると、ヘッドセットからも音が出ません。

  パソコンのスピーカーがONモードの状態

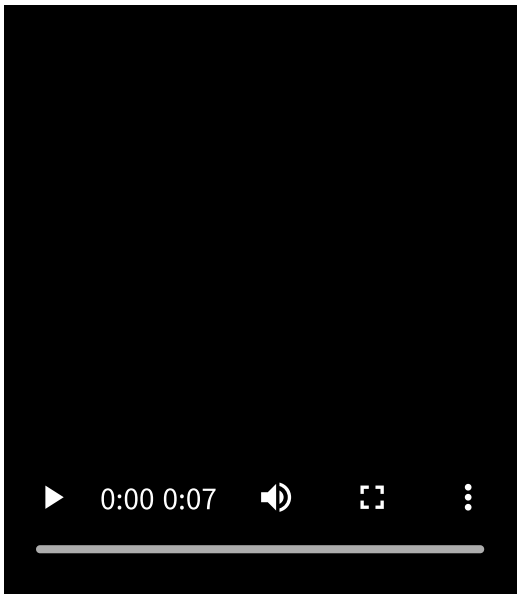


1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的にペアリングモードになります。この場合は、手順2に進んでください。
ヘッドセットに2台目以降のBluetooth機器をペアリングするとき（ヘッドセットにすでに他のペアリング情報がある場合）は、 （Bluetooth）ボタン（A）を約5秒以上押したままにして、手動でペアリングモードにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



2 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

3 パソコンの画面下のDockで［ （システム環境設定）］–［Bluetooth］の順に選ぶ。



4 ［Bluetooth］画面から［WH-1000XM6］を選び、［接続］をクリックする。



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する （Mac）」をご覧ください。
パソコンの画面に［WH-1000XM6］が表示されない場合は、もう一度手順3から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
  - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
  - ヘッドセットを初期化したとき
    すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する （Mac）
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- パソコンでビデオ通話する
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 11）

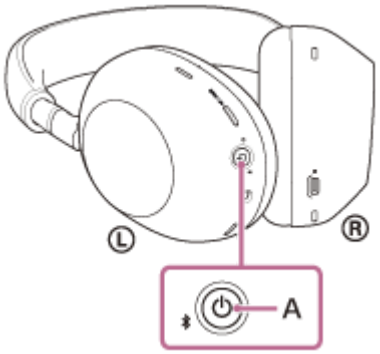
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

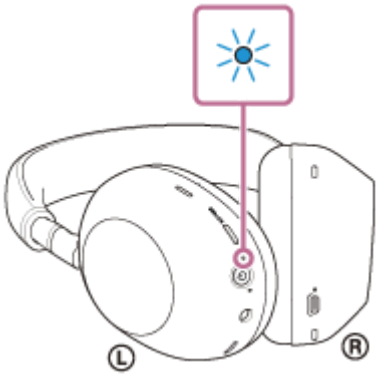
1 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

2 ヘッドセットの電源を入れる。

（電源）ボタン（A）を約2秒以上押したままにします。

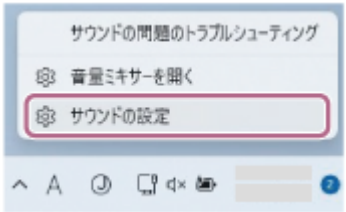


電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離したあともランプ（青）が点滅します。

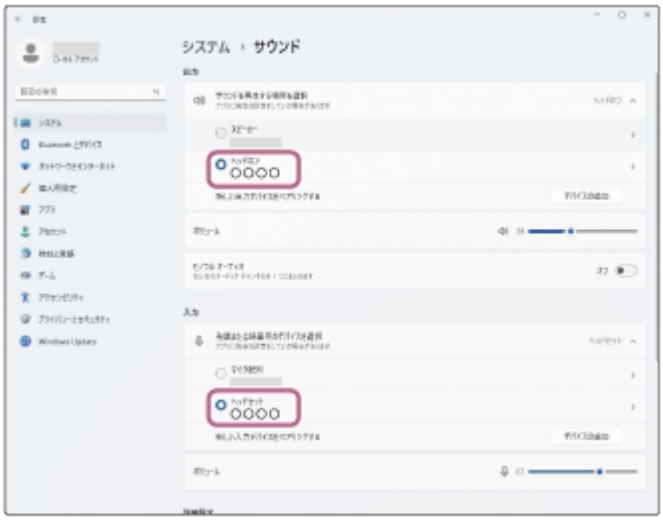


前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順3に進んでください。

3 パソコンの画面で、ツールバーのスピーカーアイコンを右クリックして［サウンドの設定］を選ぶ。

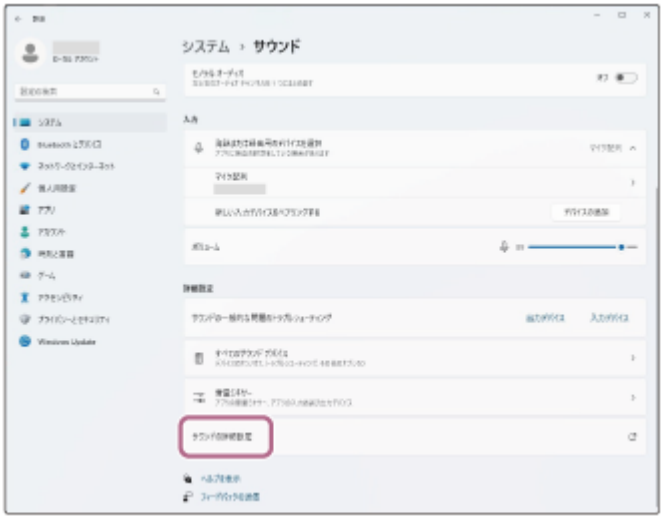


4 **［サウンド］画面の［出力］および［入力］で［WH-1000XM6］を選ぶ。**

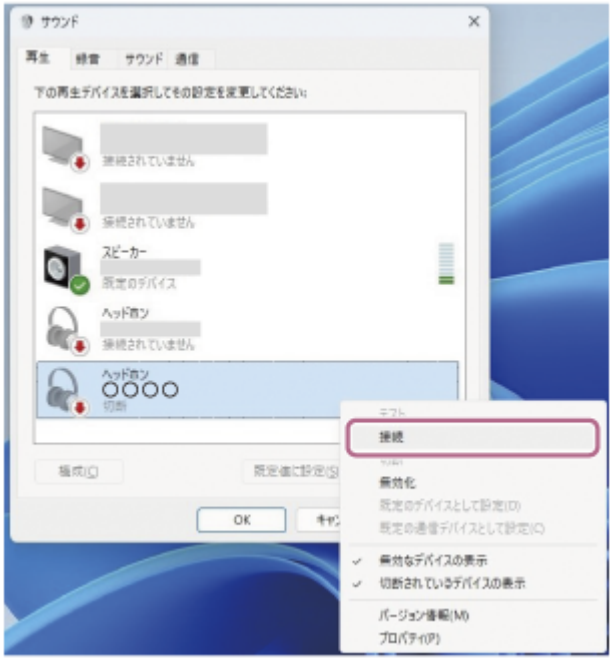


接続が完了します。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
［出力］および［入力］に［WH-1000XM6］が表示されていないときは手順5に進んでください。

5 **［サウンドの詳細設定］をクリックする。**

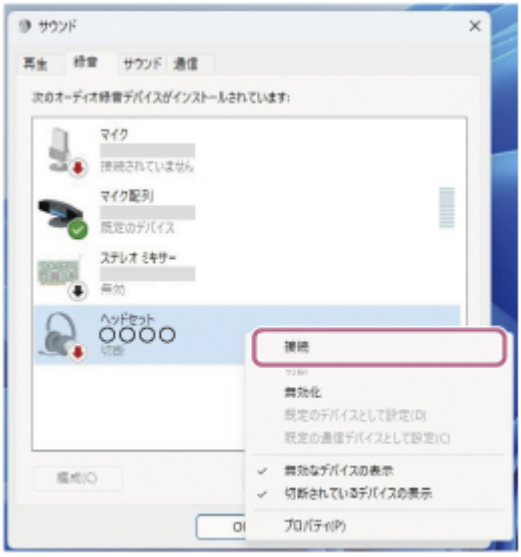


6 **［サウンド］画面の［再生］タブで［WH-1000XM6］を選んで右クリックし、表示されたメニューから［接続］を選ぶ。**



接続が完了します。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

7 ［録音］タブで［WH-1000XM6］を選んで右クリックし、表示されたメニューから［接続］を選ぶ。



ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 音楽再生時の音質がよくない場合は、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングし直してください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 11）
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）

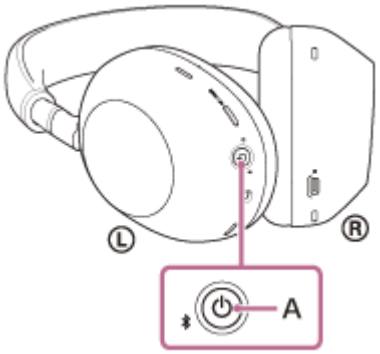
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

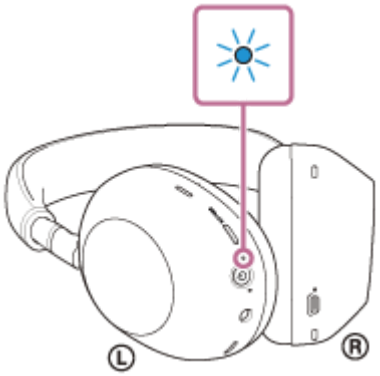
1 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

2 ヘッドセットの電源を入れる。

（電源）ボタン（A）を約2秒以上押したままにします。

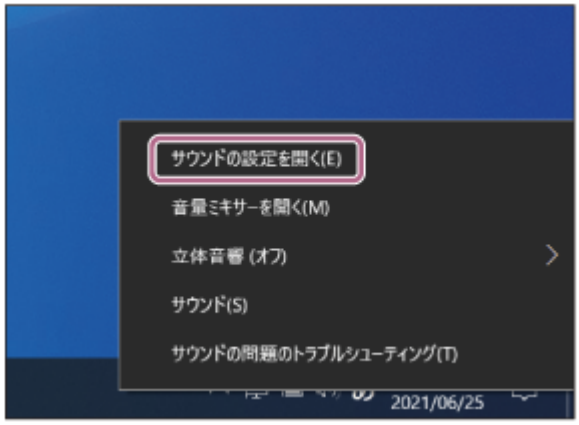


電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離したあともランプ（青）が点滅します。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順3に進んでください。

3 パソコンの画面で、ツールバーのスピーカーアイコンを右クリックして［サウンドの設定を開く］を選ぶ。

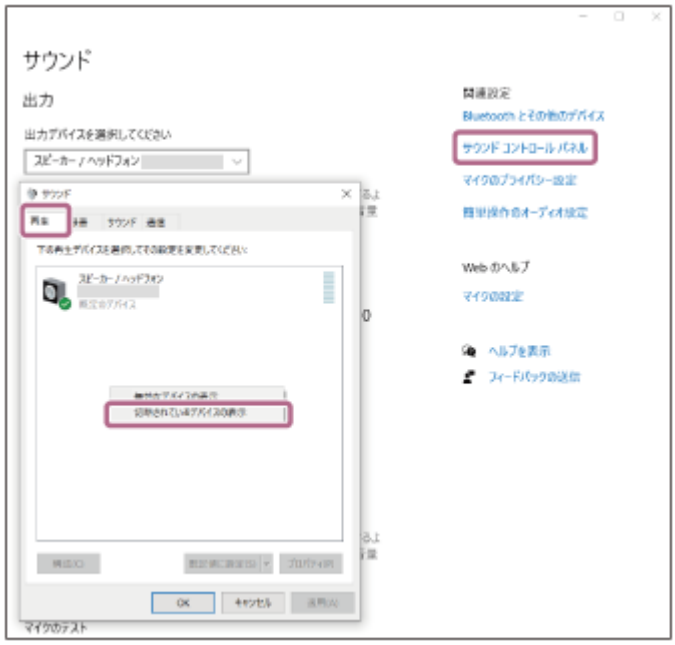


4 ［出力デバイスを選択してください］のプルダウンメニューから［ヘッドホン（WH-1000XM6 Stereo）］を選ぶ。



接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
プルダウンメニューに［ヘッドホン（WH-1000XM6 Stereo）］が表示されていないときは手順5に進んでください。

5 ［サウンドコントロール パネル］をクリック後、［サウンド］の［再生］タブ画面上で右クリックし、［切断されているデバイスの表示］にチェックを入れる。



6 表示されたメニューから［接続］を選ぶ。



接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。



ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 音楽再生時の音質がよくない場合は、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングし直してください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する （Mac）

対応OS

macOS（バージョン11以降）

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのスピーカーをONモードに設定する。
  パソコンのスピーカーが 「消音（OFF）」モードになっていると、ヘッドセットからも音が出ません。

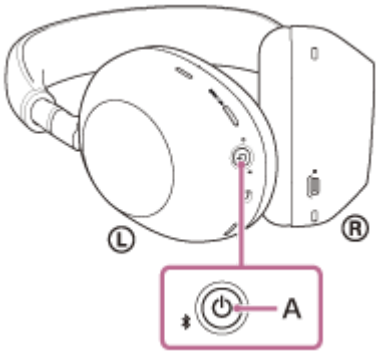
  パソコンのスピーカーがONモードの状態



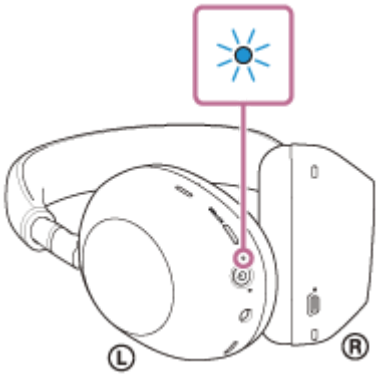
1 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

2 ヘッドセットの電源を入れる。

（電源）ボタン（A）を約2秒以上押したままにします。



電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離したあともランプ（青）が点滅します。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順3に進んでください。

3 パソコンの画面下のDockで［ （システム環境設定）］–［Bluetooth］の順に選ぶ。



4 ［Bluetooth］画面で、パソコンのControlボタンを押しながら［WH-1000XM6］をクリックし、ポップアップメニューから［接続］を選ぶ。



接続が完了します。 接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 音楽再生時の音質がよくない場合は、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングし直してください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）

- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

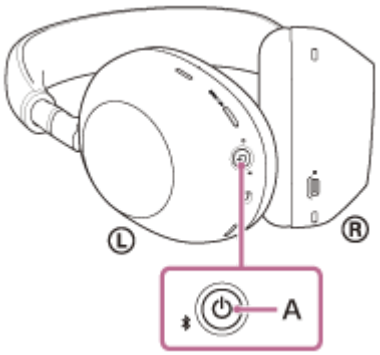
Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

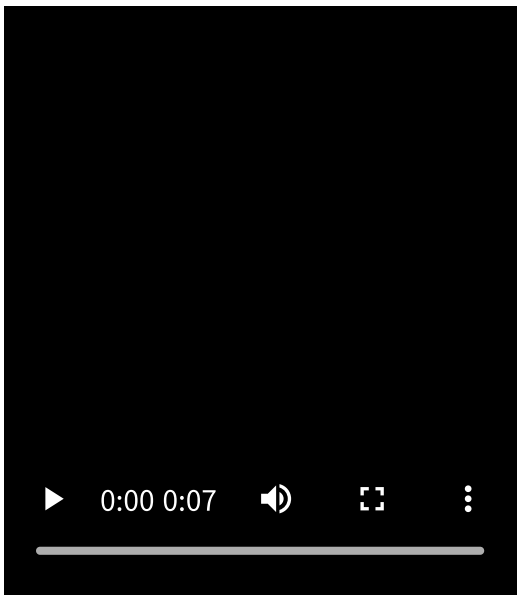
- ヘッドセットとBluetooth機器が1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するBluetooth機器の取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的にペアリングモードになります。この場合は、手順2に進んでください。
ヘッドセットに2台目以降のBluetooth機器をペアリングするとき（ヘッドセットにすでに他のペアリング情報がある場合）は、 （Bluetooth）ボタン（A）を約5秒以上押したままにして、手動でペアリングモードにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



2 Bluetooth機器でペアリング操作を行い、ヘッドセットを検索する。

Bluetooth機器の画面の検出機器一覧に［WH-1000XM6］と表示されます。

表示されない場合は、もう一度手順1から行ってください。

3 Bluetooth機器の画面に表示されている［WH-1000XM6］を選び、互いの機器をペアリングする。

パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

4 Bluetooth機器でBluetooth接続操作を行う。

ペアリングが完了すると自動的にヘッドセットと接続される機器もあります。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する」をご覧ください。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
  - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
  - ヘッドセットを初期化したとき
    すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- 機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

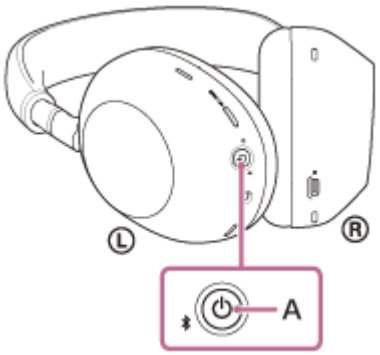
5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

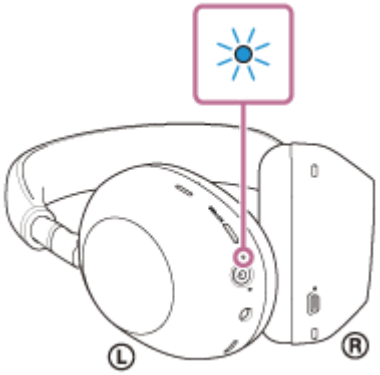
機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する

1 ヘッドセットの電源を入れる。

（電源）ボタン（A）を約2秒以上押したままにします。



電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離したあともランプ（青）が点滅します。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
Bluetooth機器で接続状態を確認してください。接続されていないときは手順2に進んでください。

2 Bluetooth機器を操作してBluetooth接続する。

Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
接続すると、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に［WH-1000XM6］［LE_WH-1000XM6］の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または［WH-1000XM6］が表示される場合は［WH-1000XM6］を、［LE_WH-1000XM6］が表示される場合は［LE_WH-1000XM6］を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。

- Bluetooth機器と接続できなくなった場合は、Bluetooth機器でヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングし直してください。Bluetooth機器の操作については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

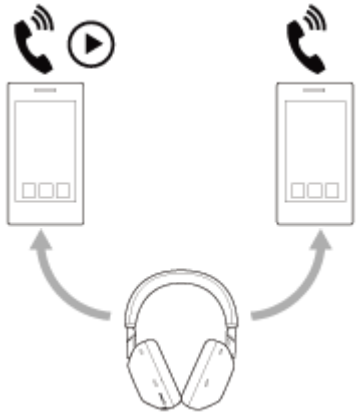
5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

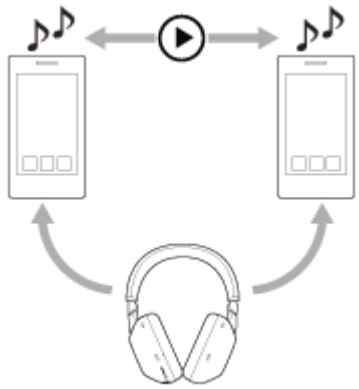
2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）

“Sony | Sound Connect”アプリで［2台の機器と同時に接続］をオンにすると、ヘッドセットに2台の機器を同時にBluetooth接続して、以下のようなことができます。

- 2台のスマートフォンの着信を待ち受ける
  ヘッドセットで一方のスマートフォンで再生した音楽を聞き、両方のスマートフォンの着信を待ち受けし、着信があれば通話できます。



- 2台の機器の音楽再生を切り替える
  一方の機器からの音楽再生を、Bluetooth接続をし直すことなく、もう一方の機器からの再生に切り替えることができます。



2台の機器を同時にBluetooth接続する

接続する前に、2台の機器のうちいずれか一方に“Sony | Sound Connect”アプリがインストールされていることを確認してください。

1. **ヘッドセットと2台の機器を、それぞれ機器登録（ペアリング）する。**
2. **“Sony | Sound Connect”アプリがインストールされている機器を操作して、ヘッドセットとBluetooth接続する。**
3. **“Sony | Sound Connect”アプリで、［2台の機器と同時に接続］をオンにする。**
4. **2台目の機器を操作して、ヘッドセットとBluetooth接続する。**

2台の機器をBluetooth接続した状態で、ペアリング済みの別の機器をBluetooth接続することができます。
3台目の機器を操作してヘッドセットとBluetooth接続しようとすると、最後に音楽を再生していた機器のBluetooth接続は維持され、もう一方の機器とのBluetooth接続が切断されます。その後、3台目の機器がヘッドセットとBluetooth接続されます。

2台の機器をBluetooth接続した状態での音楽再生

- ヘッドセットを操作して音楽を再生する場合、最後に再生していた機器からの音楽再生になります。
- 1台目の機器で音楽を再生している状態で、2台目の機器を操作して再生を始めると、ヘッドセットから2台目の機器の音楽を聞くことができます。

2台の機器をBluetooth接続した状態での通話

- ヘッドセットに2台のスマートフォンなどを同時にBluetooth接続すると、2台とも着信待ち受け状態になります。
- 1台目の機器に着信があると、着信音はヘッドセットから聞こえます。
  ヘッドセットで通話をしているときに2台目の機器に着信があると、着信音が1台目の通話に重なって聞こえます。
  この時、ヘッドセットを操作して2台目の電話を受けるか着信を拒否することができますが、1台目の通話を終了することはできません。
  1台目の通話を終了したい場合は、接続機器側での操作が必要です。
  1台目の通話を終了せずに2台目の電話を受けると、1台目の通話は無音で継続し、2台目の通話が終了すると1台目の通話に戻ります。

ご注意

- お客様の意図と異なるタイミングで接続機器が切り替わってしまう場合は、スマートフォンの通知音や操作音をオフ、もしくは音量を下げると、接続機器の切り替えが防げる場合があります。

関連項目

- “Sony | Sound Connect”アプリでできること
- Bluetooth接続をするには
- 対応コーデックについて

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

“音声の切り替え”で複数機器間の音声を切り替える

“音声の切り替え”とは、Android搭載デバイス間で音声を切り替えるGoogleの機能です。
“音声の切り替え”に対応しているヘッドセットは、複数のデバイスに接続できます。“音声の切り替え”をオンにした状態で各デバイスでヘッドセットを使用すると、ヘッドセットの音声がシームレスに切り替わります。音声が切り替わると、切り替え先のデバイスから通知されます。

対応するスマートフォン
Android 8以降

“音声の切り替え”について詳しくは、下記URLをご覧ください。
https://support.google.com/android/?p=switch_audio
機能の利用には、Google Fast Pairによる接続が必要です。
Google Fast Pairについて詳しくは、下記URLをご覧ください。
https://support.google.com/android/answer/9417604

ご注意

- “音声の切り替え”の仕様は予告なく変更になる場合があります。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

“Auracast™ブロードキャスト・オーディオ”で音楽を共有する

“Auracast™ブロードキャスト・オーディオ” とは、LE Audioの機能です。

“Auracast™ブロードキャスト・オーディオ” に対応しているヘッドセットは、一つのスマートフォンから複数のヘッドセットで同時に同じ音楽を楽しむことができます。

ご注意

- “Auracast™ブロードキャスト・オーディオ”に対応した接続機器が必要です。
  詳しくは対応している接続機器の取扱説明書をご覧ください。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

1. **Bluetooth機器を操作してBluetooth接続を切断する。**

   通知音が鳴ります。

2. **ヘッドセットの電源を切る。**

   通知音が鳴ります。

ヒント

- Bluetooth機器の種類によっては、音楽の再生を終了すると、自動的にBluetooth接続を切断する場合があります。

関連項目

- ヘッドセットの電源を切る

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

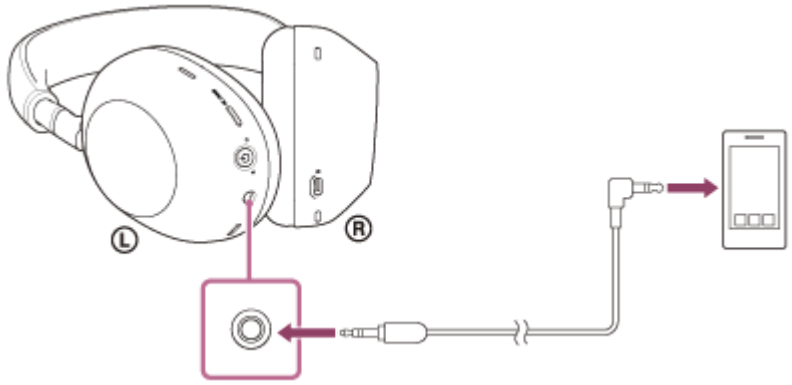
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

付属のヘッドホンケーブルをつないで使う

航空機内などBluetooth機器の使用が制限されている場所では、付属のヘッドホンケーブルをつないでヘッドセットの電源を入れると、ノイズキャンセリングヘッドホンとして使用できます。
ハイレゾリューション・オーディオ再生に対応しています。

1 ヘッドホンケーブル入力端子に、付属のヘッドホンケーブルで聞きたい機器をつなぐ。

L型プラグは必ず接続機器側につないでください。



ヒント

- 電源がオンの状態でヘッドセットからヘッドホンケーブルを抜くと、Bluetooth機能を使って音楽や通話をワイヤレスで楽しむことができます。
- ヘッドセットの電源を切っても、音楽を聞くことができます。この場合はノイズキャンセリング機能は使用できません。
- ハイレゾリューション・オーディオを再生するときや、ノイズキャンセリング機能、外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）などを使用するときは、ヘッドセットの電源を入れて使用してください。
- 電話がかかってくると、着信音はヘッドセットから聞こえます。スマートフォンを操作して電話を受け、スマートフォンのマイクで通話してください。相手の音声はヘッドセットで聞くことができます。スマートフォンからヘッドホンケーブルを外すと、スマートフォンのマイクとスピーカーで通話ができます。

ご注意

- 必ず付属のヘッドホンケーブルをご使用ください。
- 奥まで「カチッ」と音がするまで差し込んでください。プラグが正しく接続されていないと、音が正常に聞こえません。
- ヘッドホンケーブル使用時は、Bluetooth機能は使用できません。
- 付属のヘッドホンケーブルをつないでヘッドセットの電源を入れているときは、クイックアテンションモード、スピーク・トゥ・チャットは使用できます。音量調節、再生／一時停止などの操作は再生機器側で行ってください。ヘッドセットの電源を切ると、クイックアテンションモード、スピーク・トゥ・チャットは使用できなくなります。
- 電源がオフのときはNC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタンは使用できません。
- ヘッドホンケーブルをつないで通話するときは、スピーク・トゥ・チャットを無効にしてください。スピーク・トゥ・チャットを有効にしていると、相手の音声が聞こえなくなります。

関連項目

- ノイズキャンセリング機能を使う
- 音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））
- すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）
- ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

Bluetooth接続した機器の音楽を聞く

お使いのBluetooth機器が次のプロファイルに対応していれば、Bluetooth接続した機器の音楽をヘッドセットで聞いたり、ヘッドセットから機器を操作したりできます。

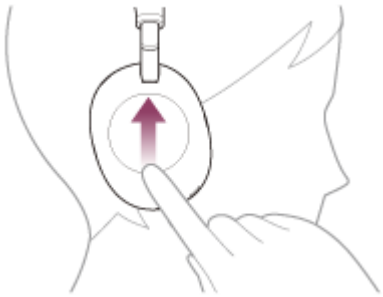
- A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
  高音質な音楽をワイヤレスで楽しめます。
- AVRCP（Audio Video Remote Control Profile）
  音量調節などの操作ができます。

操作はBluetooth機器によって異なることがあります。お使いのBluetooth機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

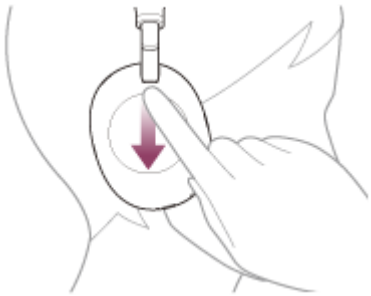
1. **ヘッドセットとBluetooth機器を接続する。**
2. **ヘッドセットを耳に装着する。**

   ヘッドセットを耳に装着する手順は、「ヘッドセットを装着する」をご覧ください。
3. **Bluetooth機器を再生して、適度な音量に調節する。**
4. **ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルを操作して、音量を調節する。**

   - 音量を上げる：上にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。

   - 音量を下げる：下にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。

   - 音量を連続して変える：上または下にすべらせて触れたまま指を止めます。お好みの音量になったら指を離します。

   音量が最大または最小になると、警告音が鳴ります。

ヒント

- ヘッドセットはSCMS-T方式のコンテンツ保護に対応しています。SCMS-T方式対応のスマートフォンやワンセグTVなどの音楽（または音声）を、ヘッドセットで聞くことができます。
- Bluetooth機器によっては、機器側で音量調節や音声出力先の設定が必要な場合があります。
- ヘッドセットは、通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節することができます。音楽再生中に音量を変えても、通話時の音量は変わりません。

ご注意

- 通信状態が悪いと、ヘッドセットの操作に対してBluetooth機器が誤動作する場合があります。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- 音楽再生時にできること（Bluetooth接続）
- ノイズキャンセリング機能を使う

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

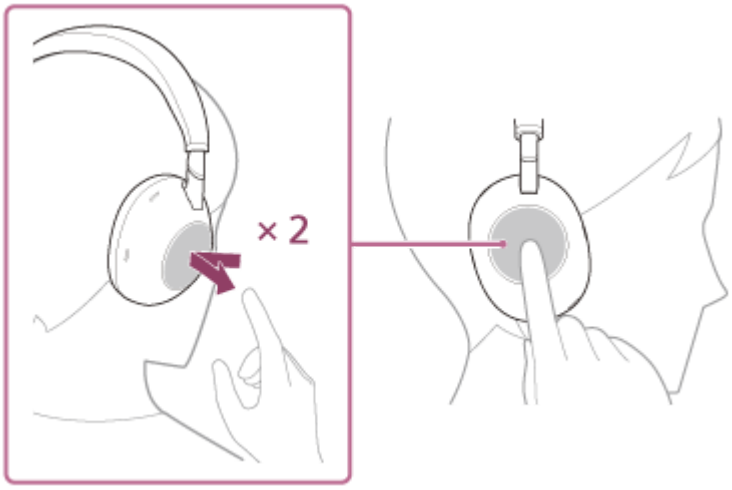
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

音楽再生時にできること（Bluetooth接続）

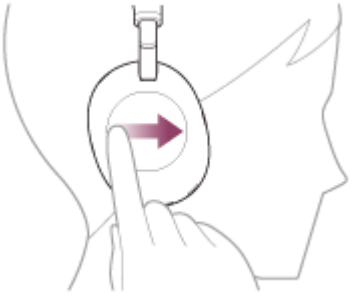
お使いのBluetooth機器が機器操作機能（対応プロファイル：AVRCP）に対応していれば、以下のような操作が可能です。Bluetooth機器によって利用できる機能は異なりますので、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

タッチセンサーコントロールパネルを使って、以下の操作ができます。

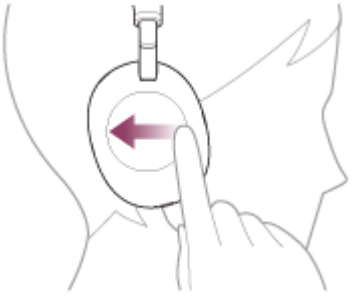
- 再生／一時停止：タッチセンサーコントロールパネルをすばやく（約0.4秒間隔で）2回タップします。



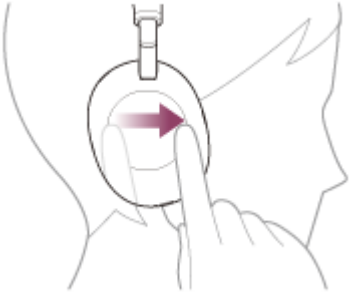
- 次の曲の頭出し：前にすべらせて離します。



- 前（または再生中）の曲の頭出し：後ろにすべらせて離します。



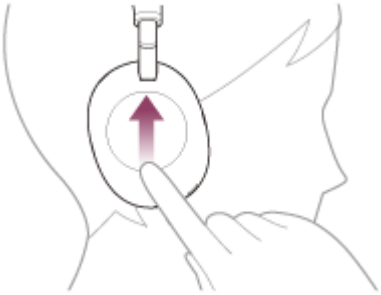
- 早送り：前にすべらせて触れたまま止め（早送りが始まるまでに多少時間がかかります）、再生したい位置に来たら指を離します。



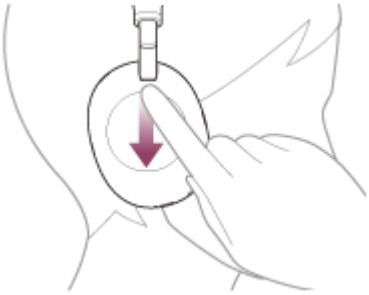
- 早戻し：後ろにすべらせて触れたまま止め（早戻しが始まるまでに多少時間がかかります）、再生したい位置に来たら指を離します。



- 音量を上げる：上にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を下げる：下にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を連続して変える：上または下にすべらせて触れたまま指を止めます。お好みの音量になったら指を離します。

ご注意

- 通信状態が悪いと、ヘッドセットの操作に対してBluetooth機器が誤動作する場合があります。
- 接続する機器、使用する音楽ソフトやアプリによって利用できる機能が異なります。上記の操作をしても異なる動作をしたり、動作しない場合があります。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

360 Reality Audioについて

360 Reality Audioとは

360 Reality Audioは、ソニーの360立体音響技術を使った新しい音楽体験です。
ボーカルやコーラス、楽器などの音源一つひとつに位置情報をつけ、球状の空間に配置。
アーティストの生演奏に囲まれているかのような、没入感のある立体的な音場を体感できます。

使用条件

iOSやAndroidを搭載したスマートフォンなどに360 Reality Audioに対応した音楽ストリーミングサービス（有料）のアプリをダウンロードしてお使いください。
“Sony | Sound Connect”アプリにより音場やヘッドセットの音響特性を最適化することで、よりリアルな臨場感を楽しめます。
360 Reality Audioについて詳しくは、下記URLをご覧ください。
https://www.sony.net/360RA/

ご注意

- 一部の国や地域ではサービスを利用できません。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

スピーカーと組み合わせてシームレス再生を楽しむ（Auto Switch）

Auto Switch対応ヘッドセットやスピーカーを操作することなく、音の出力先をヘッドセットとスピーカーの間で自動で切り替えてワイヤレス再生を楽しめます。
Auto Switch対応機器については下記URLをご覧ください。
https://www.sony.net/asw_comp_hp

Auto Switchを使用する前に、以下をご確認ください。

- スマートフォンに“Sony | Sound Connect”アプリをインストールする。
- スピーカーやヘッドセットのソフトウェアを最新バージョンにアップデートする。

1. **Auto Switch対応スピーカーを“Sony | Sound Connect”アプリをインストールしたスマートフォンに機器登録（ペアリング）する。**

   ペアリング済みの場合は、スピーカーをスマートフォンに接続してください。

2. **“Sony | Sound Connect”アプリでスピーカーのBluetoothスタンバイ機能が有効になっていることを確認する。**

3. **スピーカーの電源を切る。**

4. **ヘッドセットとスマートフォンを接続し、Auto Switchからの画面の指示に従ってスピーカーとの連携を有効にする。**

5. **スマートフォンで音楽を再生する。**

   Auto Switchの設定をした“Sony | Sound Connect”アプリがインストールされているスマートフォンで音楽を再生してください。
   ヘッドセットから音楽を再生した状態でヘッドセットの電源を切ると、自動的にスピーカーからの再生に切り替わります。
   うまく音が切り替わらないときは、スピーカーとヘッドセットを近づけてみてください。
   スピーカーから音楽を再生した状態でヘッドセットの電源を入れて装着すると、自動的にヘッドセットからの再生に切り替わります。

音量を調節するには

再生中のヘッドセットやスピーカーで音量を調節してください。音量を変更しても、再生していないヘッドセットやスピーカーの音量設定は変更されません。

Auto Switchを無効にするときは

“Sony | Sound Connect”アプリから連携を解除します。ヘッドセットまたは連携したスピーカーを初期化した場合も連携が解除されます。

ヒント

- スピーカーとの連携を有効にしたまま音の出力先を自動で切り替えたくない場合は、事前にスマートフォンの音楽再生を一時停止してください。

ご注意

- スマートフォンのハンズフリー機能では、Auto Switchはご使用になれません。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

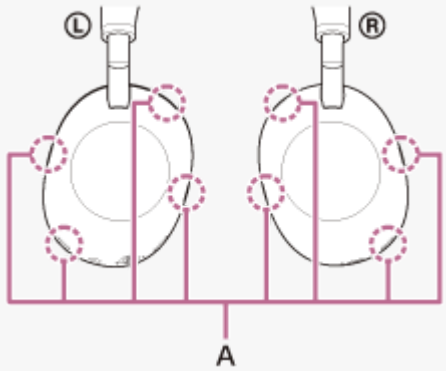
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

ノイズキャンセリング機能とは

ノイズキャンセリング機能とは、外部の環境ノイズ（乗り物内の騒音や室内の空調音など）と逆位相の音を出し、ノイズを打ち消すことで環境ノイズが低減して聞こえる機能です。

ご注意

- 装着状態や使用環境などの変化に合わせて自動的にノイズキャンセリング性能を最適化しているため、ノイズキャンセリング効果の変動を感じる場合があります。
- 静かな場所やノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない、またはノイズが大きくなったと感じられる場合があります。この場合は、ヘッドセットを耳に装着し直すと改善することがあります。
- ヘッドセットを耳に装着しているとき、装着状態によっては、ノイズキャンセリング効果が減少、もしくは動作しない、またはピッという音（ハウリング）が出たりすることがあります。この場合は、ヘッドセットを耳に装着し直してください。
- ノイズキャンセリング機能は、乗り物や空調などの主に低い周波数帯域の騒音に対してもっとも効果を発揮します。すべての音が打ち消されるわけではありません。
- 自動車、バスなどでご使用の場合、路面状況によっては、ノイズが発生することがあります。
- スマートフォンの影響によりノイズが入ることがあります。この場合は、スマートフォンからヘッドセットを離してください。
- ヘッドセットの左右のユニットにあるマイク部（A）を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の効果が得られなくなったり、ピッという音（ハウリング）が出たりすることがあります。このような場合は、左右のマイク部から手などを離してください。



ノイズキャンセリング機能の使いかたについて詳しくは、下記関連項目からご覧ください。

関連項目

- ノイズキャンセリング機能を使う

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

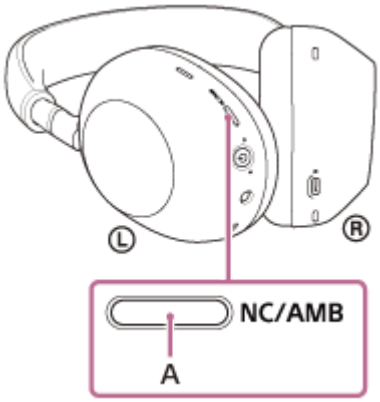
ノイズキャンセリング機能を使う

ノイズキャンセリング機能を使うと、周囲の雑音を気にせずに音楽を楽しむことができます。

1 ヘッドセットの電源を入れる。

電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
お買い上げ後初めてお使いになるときやヘッドセットを初期化した直後は、電源を入れると自動的にノイズキャンセリング機能がオンになります。2回目以降は、前回の設定が保持されます。

2 NC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタン（A）を押して、ノイズキャンセリング機能の設定を切り替える。



ボタンを押すたびに機能が次のように切り替わります。
外音取り込み機能「オン」
通知音が鳴ります。

↓

ノイズキャンセリング機能「オン」
通知音が鳴ります。

通知音を確認する

- 外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）をオンにしたとき

▶ 0:00 / 0:01

- ノイズキャンセリング機能をオンにしたとき

▶ 0:00 / 0:00

取扱説明動画について

ノイズキャンセリング機能の使いかたは、動画でご覧いただけます。
音声での説明はありません。
https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0088/ja/

ヒント

- Bluetooth接続でノイズキャンセリング機能を使用しているときに付属のヘッドホンケーブルをつなぐと、Bluetooth機能はオフになりますが、ノイズキャンセリング機能は続けて使用できます。
- 通常のヘッドホンとして使用する場合は、ヘッドセットの電源を切って、付属のヘッドホンケーブルを使用してください。
- ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の設定は、“Sony | Sound Connect”アプリでも変更できます。
- NC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタンを押したときに切り替わる機能は、“Sony | Sound Connect”アプリで以下のいずれかに切り替えることができます。
  - ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ 外音取り込み機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」
  - ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ 外音取り込み機能「オン」
  - 外音取り込み機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」
  - ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」

関連項目

- 音声ガイダンスについて
- ヘッドセットの電源を入れる
- ノイズキャンセリング機能とは
- 音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））
- “Sony | Sound Connect”アプリでできること

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

装着状態や環境に合わせてノイズキャンセリング性能を常に自動で最適化する

ヘッドセットの装着状態や使用環境を自動で測定し、ノイズキャンセリング特性を常に最適化します。装着状態や使用環境に合わせた理想的なノイズキャンセリング効果を自動的に提供します。

ご注意

- 装着状態や使用環境などの変化に合わせて自動的にノイズキャンセリング性能を最適化しているため、ノイズキャンセリング効果の変動を感じる場合があります。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

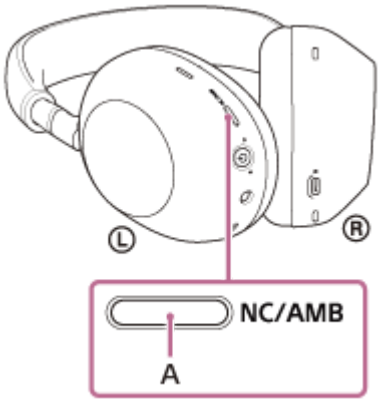
音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））

左右のヘッドセットに内蔵されているマイクにより、周囲の音を聞き取りやすくし、周囲の音を確認しながら音楽を楽しむことができます。

1 ヘッドセットの電源を入れる。

電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
お買い上げ後初めてお使いになるときやヘッドセットを初期化した直後は、電源を入れると自動的にノイズキャンセリング機能がオンになります。2回目以降は、前回の設定が保持されます。

2 NC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタン（A）を押して、外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）に切り替える。



ボタンを押すたびに機能が次のように切り替わります。
ノイズキャンセリング機能「オン」
通知音が鳴ります。



外音取り込み機能「オン」
通知音が鳴ります。

通知音を確認する

- ノイズキャンセリング機能をオンにしたとき

▶ 0:00 / 0:00

- 外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）をオンにしたとき

▶ 0:00 / 0:01

取扱説明動画について

外音取り込み機能の使いかたは、動画でご覧いただけます。
音声での説明はありません。
https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0088/ja/

ヒント

- “Sony | Sound Connect”アプリで変更した外音取り込み機能の設定はヘッドセットに記憶されます。一度設定を変更すれば、“Sony | Sound Connect”アプリがインストールされていない機器の音楽を聞くときでも、外音取り込み機能をオンにするだけで記憶された設定で聞くことができます。
- NC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタンを押したときに切り替わる機能は、“Sony | Sound Connect”アプリで以下のいずれかに切り替えることができます。
  - ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ 外音取り込み機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」
  - ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ 外音取り込み機能「オン」
  - 外音取り込み機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」
  - ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」

ご注意

- 外音取り込み機能を使用しても、周囲の状況や再生中の音の種類や音量によっては、周囲の音が聞き取れない場合があります。周囲の音が聞こえないと危険な場所（車や自転車の通る道など）では、ヘッドセットを使用しないでください。
- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、外音取り込み機能が正常に動作しない場合があります。ヘッドセットをしっかりと耳に装着してください。
- 外音取り込み機能をオンにすると、周囲の環境によって風切り音が大きくなることがあります。その場合は、“Sony | Sound Connect”アプリで外音の取り込み音量を下げてください。それでも風切り音が大きいときは、外音取り込み機能をオフにしてください。
- 外音取り込み機能がオンのときにノイズキャンセリング機能用マイク（外部）に指や髪などが触れると、大きな音が聞こえる場合があります。

関連項目

- 音声ガイダンスについて
- ノイズキャンセリング機能を使う
- “Sony | Sound Connect”アプリでできること

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

周囲の騒音レベルに合わせて自動で外音取り込みレベルを調整する（自動外音取り込み）

自動外音取り込み設定がオンのときに、周囲の騒音レベルに合わせて自動で外音取り込みレベルを調整します。
周囲の音を取り込みながらも、騒音環境では外音取り込み量を自動で調整し、快適に音楽を楽しむことができます。

ヒント

- “Sony | Sound Connect”アプリでオン／オフの切り替えや、感度設定の変更ができます。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

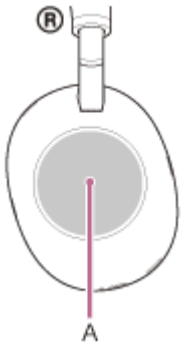
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

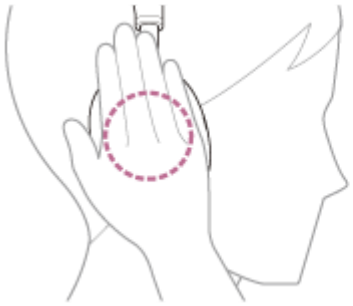
すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）

再生中の音楽や通話音声、着信音の音量を下げて、周囲の音をさらに聞き取りやすくします。電車内のアナウンスなどをすぐに聞きたいときに便利です。

クイックアテンションモードを使用するには

ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネル（A）全体を手で触れてください。クイックアテンションモードは、タッチセンサーコントロールパネルに触れている間だけ動作します。







クイックアテンションモードを解除するには

タッチセンサーコントロールパネルから手を離します。

取扱説明動画について

クイックアテンションモードの使いかたは、動画でご覧いただけます。
音声での説明はありません。
https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0089/ja/

ご注意

- 以下のような場合は正しく動作しないことがあります。
  - タッチセンサーコントロールパネル全体が覆われていない。



タッチセンサーコントロールパネルに触れていない。



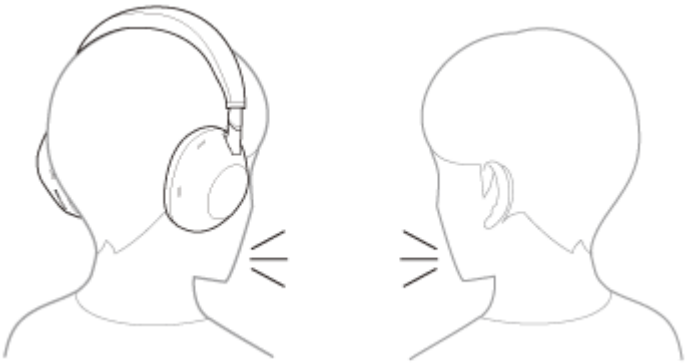
- クイックアテンションモードを使用しても、周囲の状況や再生中の音の種類や音量によっては、周囲の音が聞き取れない場合があります。周囲の音が聞こえないと危険な場所（車や自転車の通る道など）では、ヘッドセットを使用しないでください。
- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、クイックアテンションモードが正常に動作しない場合があります。ヘッドセットをしっかりと耳に装着してください。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）

事前にスピーク・トゥ・チャットを有効に設定しておくと、相手に話しかけることで、自動的にスピーク・トゥ・チャットモードが起動します。再生中の音楽の音量を下げ、相手の音声をマイクで取り込み聞きやすくします。
ヘッドセット装着者が発話した音声をヘッドセットが検出しない状態が一定時間続くと、自動的にスピーク・トゥ・チャットモードが終了します。
その前に終了したいときは、ヘッドセットのボタンやタッチセンサーコントロールパネルを操作してください。



スピーク・トゥ・チャットを有効にするには

スピーク・トゥ・チャットモードを起動するには、事前にスピーク・トゥ・チャットを有効にしておく必要があります。
お買い上げ時はスピーク・トゥ・チャットは無効に設定されています。有効にするには、“Sony | Sound Connect”アプリで設定を変更してください。

スピーク・トゥ・チャットを無効にするには

無効にするには、“Sony | Sound Connect”アプリで設定を変更してください。

ヒント

- “Sony | Sound Connect”アプリを使用すると、有効／無効の切り替え、音声自動検出の感度変更、スピーク・トゥ・チャットモードが終了するまでの時間変更ができます。お買い上げ時の設定では、終了するまでの時間は約15秒となっています。

ご注意

- スピーク・トゥ・チャットモードは、ヘッドセット装着者の発話を検出して起動しますが、まれに意図せずに歯磨き、電動歯ブラシ、電動マッサージ器、電動シェーバー、咳、鼻歌、他人の声や周囲の環境音、乗り物内のアナウンスなどに反応して起動することがあります。スピーク・トゥ・チャットが起動することが多い場合は、スピーク・トゥ・チャットモードを「低感度」に設定してください。
- 周囲の騒音などにより、ヘッドセット装着者の発話が検出されず、スピーク・トゥ・チャットモードが起動しないことがあります。この場合は、長めに発話したり、声量を大きくしてください。ただし、航空機内など騒音が非常に大きいところでは、長めに話したり、声量を大きくしてもスピーク・トゥ・チャットモードが起動しないことがあります。

関連項目

- “Sony | Sound Connect”アプリでできること

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

音質モードについて

Bluetooth再生時の音質モードを次の3通りから選べます。“Sony | Sound Connect”アプリで、設定を切り替えたり、音質モードを確認したりすることができます。
音質優先：再生音質を優先します（お買い上げ時の設定）。
接続優先：接続の途切れにくさを優先します。
低遅延：低遅延で接続します。

- 再生音質を優先したいときは、［音質優先］に設定してください。
- 音切れしやすいなど接続が不安定なときは、［接続優先］に設定してください。
- 低遅延で接続したいときは、［低遅延］に設定してください。

ご注意

- 以下の場合、［低遅延］は表示されません。
  - LE Audio非対応の接続機器、またはXperia 1 IV／5 IVを使用する場合
  - “Sony | Sound Connect”アプリとヘッドセットのソフトウェアが最新でない場合
- 音質や使用条件などにより、再生時間が短くなる場合があります。
- お使いの環境によっては、［接続優先］にしても音の途切れが改善されない場合もあります。
- ［音質優先］モード、［低遅延］モードでは、再生時間が短くなる場合があります。
- ［低遅延］モードは低遅延を重視しているため、［音質優先］モードや［接続優先］モードに比べて接続の安定性が悪化します。電波環境が悪く音途切れする場合は、［音質優先］モードまたは［接続優先］モードに切り替えてください。
- ［低遅延］モードはLE Audioでの接続です。LE Audioでの接続方法は「Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する」をご覧ください。

関連項目

- “Sony | Sound Connect”アプリでできること

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

対応コーデックについて

コーデックとはBluetooth接続で音声を無線伝送する際に使用する「音声圧縮変換方式」のことです。
ヘッドセットは以下のコーデックに対応しています。
Classic AudioのA2DPで接続しているとき（音楽再生の接続）：SBC、AAC、LDAC
LE Audioで接続しているとき：LC3

- SBC
  Subband Codecの略です。
  SBCは、Bluetooth機器が標準で使用する音声圧縮技術です。
  Bluetooth機器は必ずSBCに対応しています。

- AAC
  Advanced Audio Codingの略です。
  AACは、主にiPhoneなどのApple製品で使用されており、SBCに比べ高音質です。

- LDAC
  LDACは、ソニーが開発したハイレゾ音源をBluetooth通信経由でも伝送可能とする音声圧縮技術です。
  SBC等の既存Bluetooth通信向け圧縮技術とは異なり、ハイレゾ音源を低い周波数・低いビット数へダウンコンバートすることなく処理します*。
  また極めて効率的な符号化やパケット配分の最適化を施すことで、従来技術比約3倍**のデータ量の送信を可能とし、これまでにない高音質のBluetooth無線伝送を実現しています。

- LC3
  Low Complexity Communication Codecの略です。
  LC3はLE Audioのコーデックで、低遅延での伝送を実現しています。

* DSDフォーマットは除く。
** 990 kbps（96/48 kHz）または909 kbps（88.2/44.1 kHz）のビットレートを選択した場合のSBCとの比較。

接続機器が上記のいずれかのコーデックで音楽を送信してきたとき、自動的にそのコーデックに対応し音楽再生します。
SBCよりも高音質なコーデックに対応している接続機器の場合、対応しているコーデックの中から希望するコーデックで音楽を楽しむために、事前に接続機器側の設定が必要な場合があります。
コーデックの設定については接続機器の取扱説明書をご確認ください。
LE Audio接続時、音楽再生時はLC3のコーデックで音楽再生されます。
LE Audioで接続する場合は“Sony | Sound Connect”アプリを使用して、音質モードを［低遅延］に設定してください。［音質優先］(お買い上げ時の設定)では、LE Audioの接続はできません。
事前に接続機器側の設定が必要な場合がありますので、接続機器の取扱説明書をご覧ください。
LE Audio接続中にGMAPに対応しているゲームアプリを立ち上げた際、自動的にプロファイルが切り替わります。
GMAPは、ゲームに最適な超低遅延を実現するLE Audioのプロファイルの一つです。
GMAPで接続するには、スマートフォンがGMAPに対応している必要があります。対応状況については、お使いのスマートフォンの説明書をご覧ください。

関連項目

- 音質モードについて

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

DSEE Extremeについて

音楽ファイルの高音域を補完するとともに、サンプリング周波数とビットレートを本来の数値より高めることで、MP3などの高圧縮音源もCD以上の高解像になり、よりクリアな躍動感あるサウンドを楽しめます。さらに、周波数特性の補完には、AI（人工知能）技術を用いることで、高音域の補完性能が向上しました。
“Sony | Sound Connect”アプリで、設定を切り替えることができます。
再生機器の仕様によっては、圧縮された音源をLDACで伝送するときにDSEE Extremeが無効になる場合があります。

ご注意

- DSEE Extremeを［Auto］に設定していると、使用可能時間が短くなります。
- 通話中はDSEE Extremeは無効になります。

関連項目

- “Sony | Sound Connect”アプリでできること

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

360 Upmix for Cinemaを使う

360 Reality Audio Upmix for Cinemaを使うと、ストリーミングサービスなどを含めたステレオ音源を臨場感のある立体的な再生音で楽しめます。
“Sony | Sound Connect”アプリで、設定を切り替えることができます。

ご注意

- 以下の場合は、設定した360 Upmix for Cinemaは無効になります。
  - 通話中
  - ヘッドホンケーブルにつないでヘッドセットを使用しているとき
- 設定した360 Upmix for Cinemaの状態は電源を切っても保持されます。電源を入れると前回と同じ状態になります。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

電話を受ける

お使いのスマートフォンがBluetoothプロファイルのHFP（Hands-free Profile）またはHSP（Headset Profile）に対応していれば、ヘッドセットとBluetooth接続してハンズフリー通話ができます。

- スマートフォンがHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPを使用してください。
- 操作はスマートフォンによって異なることがあります。お使いのスマートフォンの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- お使いの接続機器やアプリケーションによっては、ヘッドセットの操作で機能が正しく動作しない場合があります。

ヘッドセットのマイクは、正しく装着した状態で装着者の声を拾いやすいように設計されています。正しく装着していないと、装着者の声を拾いにくくなる場合がありますので、通話を行う際にはヘッドセットを正しく装着してください。

着信音について

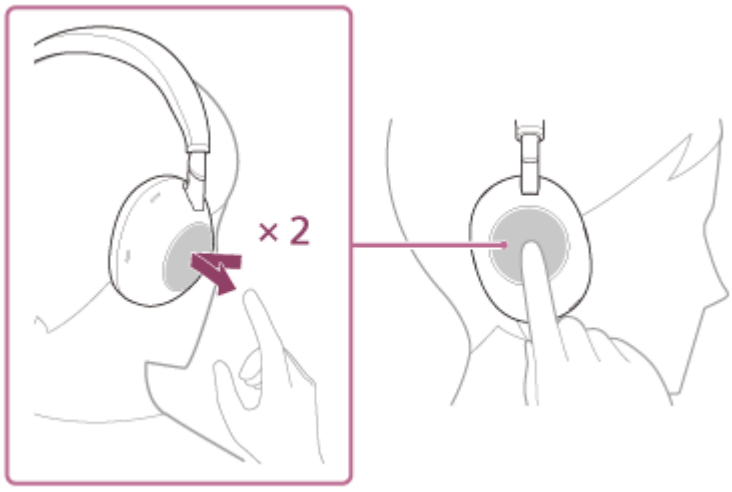
着信すると、ヘッドセットから着信音が聞こえ、ランプ（青）が速く点滅します。
ヘッドセットから聞こえる着信音は、スマートフォンによって以下のいずれかとなります。

- ヘッドセットの着信音
- スマートフォンの着信音
- スマートフォンのBluetooth接続専用の着信音

1 あらかじめヘッドセットとスマートフォンをBluetooth接続しておく。

2 着信したら、タッチセンサーコントロールパネルをすばやく（約0.4秒間隔で）2回タップして電話を受ける。

音楽再生中に着信すると、音楽が一時停止し、着信音が聞こえます。



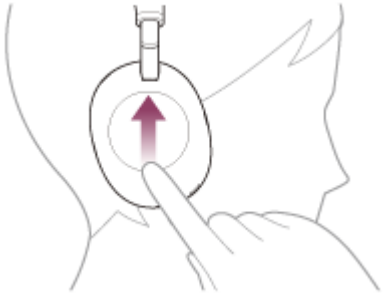
ヘッドセットには全指向性マイクを搭載しています。マイクの位置を意識せずに通話ができます。

ヘッドセットから着信音が聞こえない場合は

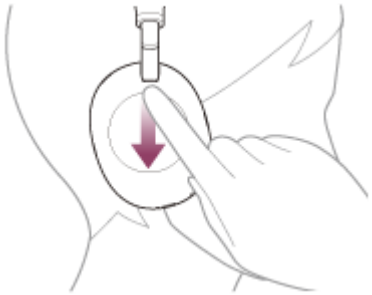
- HFPまたはHSPで接続されていない可能性があります。スマートフォンの接続状況を確認してください。
- 再生中の音楽が自動的に一時停止しない場合は、再生機器を操作して一時停止してください。

3 タッチセンサーコントロールパネルを操作して、音量を調節する。

- 音量を上げる：上にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を下げる：下にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を連続して変える：上または下にすべらせて触れたまま指を止めます。お好みの音量になったら指を離します。

音量が最大または最小になると、警告音が鳴ります。

4 **通話が終了したら、タッチセンサーコントロールパネルをすばやく（約0.4秒間隔で）2回タップして電話を切る。**

音楽再生中に着信したときは、電話を切ると再生を再開します。

ヒント

- スマートフォンを操作して電話を受けた場合、機種によっては、スマートフォンでの通話が優先されることがあります。スマートフォンを操作して、通話をヘッドセットに切り替えてください。
- 通話の音量は、待ち受け中には調節できません。
- ヘッドセットは、通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節することができます。通話中に音量を変えても、音楽再生時の音量は変わりません。

ご注意

- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、音楽再生中に着信した通話を終了しても、自動的に再生を再開しないことがあります。
- スマートフォンは、ヘッドセットから50 cm以上離してお使いください。ヘッドセットとスマートフォンが近いとノイズが入ることがあります。
- 通話中に自分の声をより聞こえやすくするため、マイクが作動し外音を取り込みます（サイドトーン機能）。自分の声が大きく聞こえたり周囲の音が気になる場合は、“Sony | Sound Connect”アプリで［通話時の自分の声の取り込み］をオフにしてください。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- 電話をかける

- 通話時にできること

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

電話をかける

お使いのスマートフォンがBluetoothプロファイルのHFP（Hands-free Profile）またはHSP（Headset Profile）に対応していれば、ヘッドセットとBluetooth接続してハンズフリー通話ができます。

- スマートフォンがHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPを使用してください。
- 操作はスマートフォンによって異なることがあります。お使いのスマートフォンの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- お使いの接続機器やアプリケーションによっては、ヘッドセットの操作で機能が正しく動作しない場合があります。

ヘッドセットのマイクは、正しく装着した状態で装着者の声を拾いやすいように設計されています。正しく装着していないと、装着者の声を拾いにくくなる場合がありますので、通話を行う際にはヘッドセットを正しく装着してください。

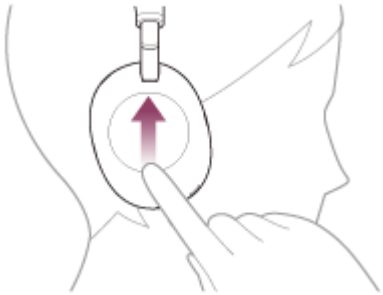
1 ヘッドセットとスマートフォンをBluetooth接続する。

2 お使いのスマートフォンを操作して発信する。

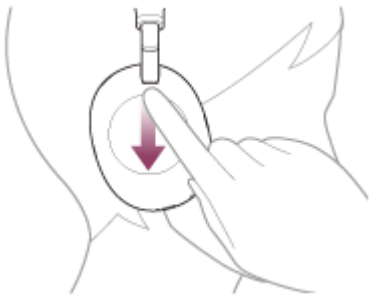
発信すると、ヘッドセットから発信音が聞こえます。
音楽再生中に発信すると、音楽が一時停止します。
ヘッドセットから発信音が聞こえない場合は、スマートフォンを操作してヘッドセットに音声を切り替えてください。

3 タッチセンサーコントロールパネルを操作して、音量を調節する。

- 音量を上げる：上にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



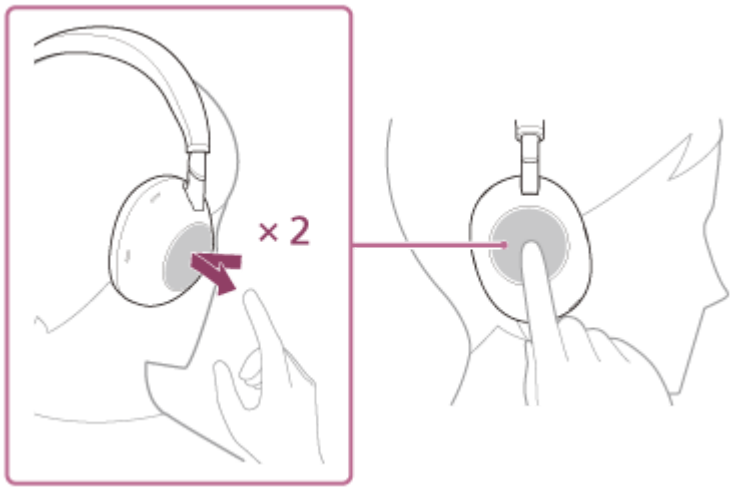
- 音量を下げる：下にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を連続して変える：上または下にすべらせて触れたまま指を止めます。お好みの音量になったら指を離します。

音量が最大または最小になると、警告音が鳴ります。

4 **通話が終了したら、タッチセンサーコントロールパネルをすばやく（約0.4秒間隔で）2回タップして電話を切る。**



音楽再生中に発信したときは、電話を切ると再生を再開します。

ヒント

- 通話の音量は、待ち受け中には調節できません。
- ヘッドセットは、通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節することができます。通話中に音量を変えても、音楽再生時の音量は変わりません。

ご注意

- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、音楽再生中に発信した通話を終了しても、自動的に再生を再開しないことがあります。
- スマートフォンは、ヘッドセットから50 cm以上離してお使いください。ヘッドセットとスマートフォンが近いとノイズが入ることがあります。
- 通話中に自分の声をより聞こえやすくするため、マイクが作動し外音を取り込みます（サイドトーン機能）。自分の声が大きく聞こえたり周囲の音が気になる場合は、“Sony | Sound Connect”アプリで［通話時の自分の声の取り込み］をオフにしてください。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- 電話を受ける
- 通話時にできること

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

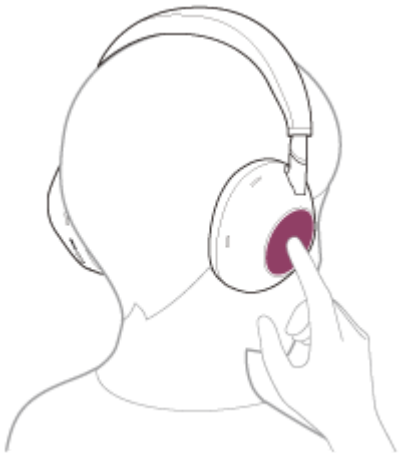
通話時にできること

通話時にできることは、お使いのスマートフォンが対応しているプロファイルによって異なります。また、プロファイルが同じでも、スマートフォンによって利用できる機能が異なります。
お使いの接続機器やアプリケーションによっては、タッチセンサーコントロールパネルの操作で機能が正しく動作しない場合があります。
お使いのスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

スマートフォンがHFP（Hands-free Profile）対応のとき

待ち受け中／音楽再生中

- タッチセンサーコントロールパネルに触れたままにすると、スマートフォンのボイスダイヤル機能や、Android搭載スマートフォンの Googleアプリ、iPhoneのSiriを起動します。



発信中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく（約0.4秒間隔で）2回タップすると、発信を中断します。

着信中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく2回タップすると、電話を受けます。
- タッチセンサーコントロールパネルに触れたままにすると、着信を拒否します。

“Sony | Sound Connect”アプリでヘッドジェスチャー設定を有効にしているときは、ヘッドセットを装着した状態で以下の操作ができます。

- 電話を受ける：頭を縦に振ります。



- 着信拒否：頭を横に振ります。



通話中

- “Sony | Sound Connect”アプリで通話中のマイクのオン／オフ設定を有効にすると、NC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタンをすばやく2回押すことで、マイクのオン／オフを切り替えることができます。
- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく2回タップすると、通話を終了します。

スマートフォンがHSP（Headset Profile）対応のとき

発信中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく2回タップすると、発信を中断します。

着信中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく2回タップすると、電話を受けます。

通話中

- “Sony | Sound Connect”アプリで通話中のマイクのオン／オフ設定を有効にすると、NC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタンをすばやく2回押すことで、マイクのオン／オフを切り替えることができます。
- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく2回タップすると、通話を終了します。

ヒント

- マイクがオフの間、オフ状態を示す通知音が7秒おきに鳴ります。この通知音は“Sony | Sound Connect”アプリでオン／オフ設定を切り替えることができます。

ご注意

- “Sony | Sound Connect”アプリで［ヘッドジェスチャー］を有効にしている場合、お使いの接続機器やアプリケーションによっては、ヘッドジェスチャーの操作で機能が正しく動作しないことがあります。
- お使いのビデオ通話用アプリによっては、マイクの設定ができない場合があります。
- マイクのオン／オフ操作は、ヘッドセットのマイクのみと連動します。お使いのスマートフォンやパソコンのソフトのマイク設定とは連動しません。

関連項目

- 電話を受ける
- 電話をかける

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

パソコンでビデオ通話する

パソコンでビデオ通話するときに、ヘッドセットからワイヤレスで通話することができます。

1. **ヘッドセットとパソコンをBluetooth接続する。**
2. **パソコンのビデオ通話用アプリを起動する。**
3. **ビデオ通話用アプリの設定*を確認する。**
   - パソコンでビデオ通話するときは、音楽再生の接続（A2DP）ではなく、通話の接続（HFP/HSP）を選びます。音楽再生の接続を選ぶと、通話できない場合があります。
   - スピーカーの設定で、通話の接続［ヘッドセット（WH-1000XM6 Hands-Free）］**を選びます。（［ヘッドホン（WH-1000XM6 Stereo）］**は音楽再生の接続です。）
   - マイクの設定で、通話の接続［ヘッドセット（WH-1000XM6 Hands-Free）］**を選びます。
   - お使いのビデオ通話用アプリによっては、スピーカーの設定やマイクの設定で、通話の接続［ヘッドセット（WH-1000XM6 Hands-Free）］**や音楽再生の接続［ヘッドホン（WH-1000XM6 Stereo）］**を選択できず、［WH-1000XM6］のみ表示される場合があります。その場合は、［WH-1000XM6］を選んでください。
   - その他、よくあるお問い合せとその回答をサポートホームページでご案内していますので、ご参照ください。

* お使いのビデオ通話用アプリによっては、機能がない場合があります。
** 名称はお使いのパソコンやビデオ通話用アプリによって異なります。

ヒント

- ビデオ通話用アプリの設定が確認できない場合や、通話の接続［ヘッドセット（WH-1000XM6 Hands-Free）］を選択できない場合は、パソコンの設定から［ヘッドセット（WH-1000XM6 Hands-Free）］を選び、接続してください。「機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 11）」、「機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）」、「機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する （Mac）」をご覧ください。

ご注意

- お使いのビデオ通話用アプリによっては、マイクの設定ができない場合があります。
- スピーク・トゥ・チャット機能を有効にすると、マイクの設定を正しく選択していない、もしくは、マイクの設定ができない場合に、発話によってスピーク・トゥ・チャットモードが起動し、ヘッドセットからの音声が小さくなり、聞こえないことがあります。
- お使いのパソコンやアプリケーションによって、ビデオ通話中にヘッドセットが正しく動作しない場合があります。また、パソコンを再起動すると症状が改善する場合があります。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 11）
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）

- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 11）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する （Mac）
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

音声コントロールを使う

使用できる言語は「日本語」「英語」「中国語」「スペイン語」「ドイツ語」「フランス語」です。

1 “Sony | Sound Connect”アプリで以下の設定をする。

- ［音声コントロール／音声アシスタント］を［音声コマンドでヘッドホンを操作］に設定する
- ［音声コントロールの言語設定］で言語を設定する

2 ウェイクワードを発話する。

以下のような単語をウェイクワードとして使えます。
英語：Hey headphones
フランス語：Dis casque
ドイツ語：Hey Kopfhörer
スペイン語：Hey auriculares
日本語：ハロー ヘッドホン
中国語：Hey 你好

ウェイクワードを受け付けたことを知らせる通知音が鳴り、音声コマンドの入力を待つ状態が約8秒間続きます。

3 入力待ちの間に音声コマンドを入力しヘッドセットを操作する。

使用できる音声コマンドは“Sony | Sound Connect”アプリで確認できます。

- ウェイクワードではなく下記ワードを発話すると、接続機器の音声アシスタント機能を使用することができます。
  英語：Assistant
  フランス語：Assistant
  ドイツ語：Assistant
  スペイン語：Asistente
  日本語：アシスタント
  中国語：语音助手

検出しづらいときは

- 大きくハッキリ言ってみてください。
- 周りが騒がしいと、認識されない場合があります。
- ヘッドセットの音量が大きすぎると、認識されない場合があります。
- 「アシスタント」「Assistant」「Asistente」「语音助手」と言ってから起動までに２秒ほどかかることがあります。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

Google アシスタントを使う

スマートフォンに搭載されているGoogle アシスタントを起動して、ヘッドセットの左右のマイクから、声でスマートフォンを操作したり、調べものをしたりすることができます。

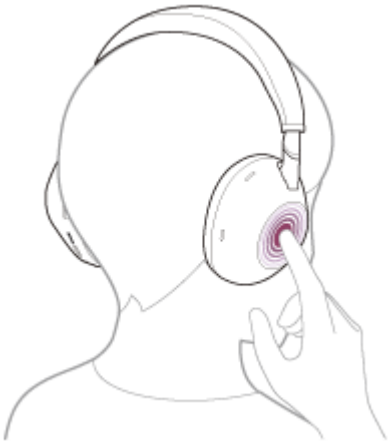
対応するスマートフォン

- Android™ 6以降

1. **“Sony | Sound Connect”アプリを起動し、タッチセンサーコントロールパネルの機能をGoogle アシスタントに変更する。**

   初回接続時は、Google アシスタントを起動して会話画面で［ヘッドフォンの設定を完了］をタッチし、スマートフォン画面の指示に従ってGoogle アシスタントの初期設定を完了してください。

2. **「OK Google」などと呼びかける、もしくはタッチセンサーコントロールパネルを操作して、Google アシスタントを使う。**



   タッチセンサーコントロールパネルに触れたままにすると音声入力が開始され、指を離すと音声入力を終了します。

Google アシスタントの詳しい操作については、以下のホームページをご覧ください。
https://assistant.google.com/intl/ja_jp/

Google アシスタントでヘッドセットの操作をする

Google アシスタントで特定のワードを呼びかけることで、ノイズキャンセリングの設定などのヘッドセットの操作を行うことができます。
詳細については、以下のホームページ*をご覧ください。
https://support.google.com/assistant/answer/7172842#headphones

* ホームページで案内されているすべての仕様に対応しているわけではありません。

ヒント

- ヘッドセットのソフトウェアバージョンの確認とアップデートは、“Sony | Sound Connect”アプリで行ってください。
- ネットワークに接続されていないなどの理由でGoogle アシスタントが使用できないときは、音声ガイダンス「Google アシスタントが接続されていません」が流れます。

- Google アシスタントの会話画面で［ヘッドフォンの設定を完了］が表示されていないときは、スマートフォンのBluetooth設定からヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報を削除して、もう一度ペアリングを行ってください。
- タッチセンサーコントロールパネルには、音声アシスタントを割り当てないこともできます。

ご注意

- タッチセンサーコントロールパネルの機能をGoogle アシスタントに変更すると、音声アシスト機能（Googleアプリ）は使用できなくなります。
- タッチセンサーコントロールパネルの機能をGoogle アシスタントに変更すると、音声アシスト機能（Siri）は使用できなくなります。
- Google アシスタントは、一部の言語、国や地域では使用できません。
- Google アシスタントでヘッドセットの操作をする機能は、Google アシスタントの仕様によります。
- Google アシスタントの仕様は予告なく変更になる場合があります。
- Google アシスタントなど、他社が提供しているサービスについては、該当のサービス提供者に直接お問い合わせください。
ソニーは、他社が提供しているサービスに関連する誤認識などの不具合について一切の責任を負いません。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

音声アシスト機能（Googleアプリ）を使う

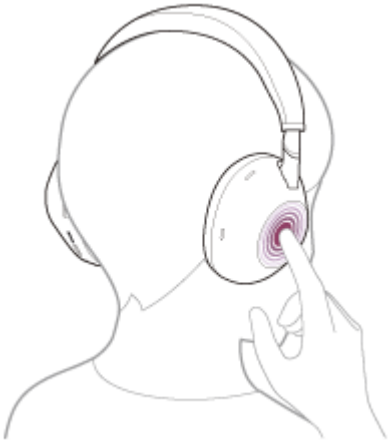
Android搭載スマートフォンに搭載されているGoogleアプリを起動して、ヘッドセットの左右のマイクから、声でAndroid搭載スマートフォンを操作できます。

1 アシストと音声入力の選択をGoogleアプリに設定する。

Android搭載スマートフォンで［設定］-［アプリと通知］-［詳細設定］-［標準のアプリ］-［アシストと音声入力］を選び、［アシストアプリ］をGoogleアプリに設定します。
上記の操作は一例です。詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
注：最新版のGoogleアプリが必要なことがあります。
Googleアプリについて詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書やサポートページまたはGoogle Playストアのウェブページをご覧ください。
Android搭載スマートフォンの仕様により、ヘッドセットからのGoogleアプリの起動に対応しない場合があります。

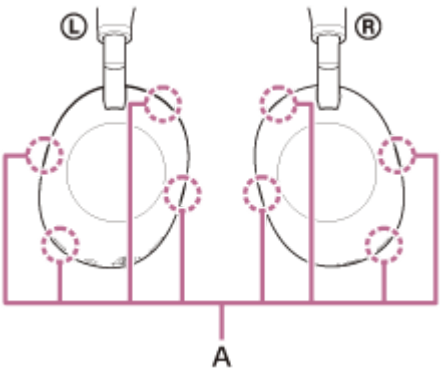
2 ヘッドセットをAndroid搭載スマートフォンにBluetooth接続する。

3 Android搭載スマートフォンが待ち受け中や音楽再生中に、ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルに触れたままにする。



Googleアプリが起動します。

4 ヘッドセットを耳に装着した状態で、Googleに話しかける。



マイク（A）はヘッドセットの左右についています。
Googleアプリと連携しているアプリなどについて詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
Googleアプリを起動した後、頼みごとをしないで一定時間たつと、音声入力が解除されます。

ご注意

- タッチセンサーコントロールパネルの機能をGoogle アシスタントに設定している場合は、音声アシスト機能（Googleアプリ）は使用できません。
- Android搭載スマートフォンで“OK Google”を有効にしていても、“OK Google”の音声でGoogleアプリを起動することはできません。
- 通話中に自分の声をより聞こえやすくするため、マイクが作動し外音を取り込みます（サイドトーン機能）。自分の声が大きく聞こえたり周囲の音が気になる場合は、“Sony | Sound Connect”アプリで［通話時の自分の声の取り込み］をオフにしてください。
- スマートフォンの仕様やアプリのバージョンによりGoogleアプリが起動しない場合があります。
- 音声アシスト機能に対応していない機器と接続した場合、Googleアプリは動作しません。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

音声アシスト機能（Siri）を使う

iPhoneに搭載されているSiriを起動して、ヘッドセットの左右のマイクから、声でiPhoneを操作できます。

1 Siriを有効にする。

iPhoneで［設定］–［Siriと検索］の順に選び、［ホームボタンを押してSiriを使用］と［ロック中にSiriを許可］をオンにします。
上記の操作は一例です。詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。
注：Siriについて詳しくは、iPhoneの取扱説明書やサポートページをご覧ください。

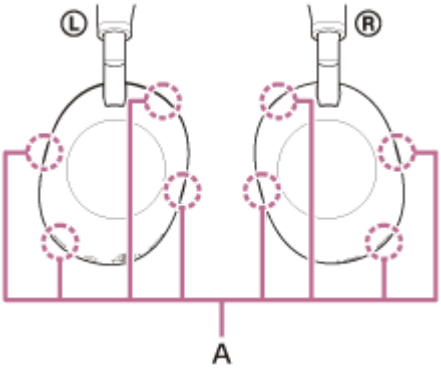
2 ヘッドセットをiPhoneにBluetooth接続する。

3 iPhoneが待ち受け中や音楽再生中に、ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルに触れたままにする。



Siriが起動します。

4 ヘッドセットを耳に装着した状態で、Siriに頼みごとをする。



マイク（A）はヘッドセットの左右についています。
Siriと連携しているアプリなどについて詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。
Siriを起動した後、頼みごとをしないで一定時間がたつと、Siriが解除されます。

ご注意

- タッチセンサーコントロールパネルの機能をGoogle アシスタントに設定している場合は、Siriは使用できません。
- iPhoneで“Hey Siri”を有効にしていても、“Hey Siri”の音声でSiriを起動することはできません。
- 通話中に自分の声をより聞こえやすくするため、マイクが作動し外音を取り込みます（サイドトーン機能）。自分の声が大きく聞こえたり周囲の音が気になる場合は、“Sony | Sound Connect”アプリで［通話時の自分の声の取り込み］をオフにしてください。
- スマートフォンの仕様やアプリのバージョンによりSiriが起動しない場合があります。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

“Sony | Sound Connect”アプリでできること

“Sony | Sound Connect”アプリをインストールしたスマートフォンとヘッドセットをBluetooth接続すると、以下のことができます。

- ヘッドセットのソフトウェアアップデート
- 音声ガイダンスの言語変更
- 音声ガイダンスのオン／オフ切り替え
- 音声ガイダンスの音量設定
- 音声アシスタントの設定*
- Quick Access設定*
- サービスとの連携のオン／オフ切り替え*
- タッチセンサーコントロールパネルのオン／オフ切り替え
- Bluetooth接続モード設定（音質モード）*
- サイドトーンのオン／オフ切り替え
- ヘッドセットの電源オフ
- 装着検出による自動電源オフ機能の設定
- 装着検出による自動音楽再生停止／再生再開機能の設定
- ヘッドセットの接続状態と設定の確認
- マルチポイント接続（2台の機器と同時に接続）の設定
- ヘッドセットのLE Audio接続設定
- ヘッドセットの初期化
- ヘッドセットのソフトウェアバージョンの確認
- ヘッドジェスチャー検出のオン／オフ切り替え
- LE Audio接続状態表示
- Bluetooth接続コーデックの表示
- DSEE Extremeの設定状態表示
- DSEE Extreme設定
- ヘッドセットの充電式電池の残量表示
- 音楽用とゲーミング用のイコライザー設定
- イコライザー設定のカスタム設定
- ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能のモード調整（外音コントロール）
- ヘッドセットからノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能を切り替える際の切り替えパターン設定
- 自動外音取り込みのオン／オフ切り替え
- 外音検出感度の設定
- 行動検出によるノイズキャンセリング機能の自動調整（アダプティブサウンドコントロール）
- スピーク・トゥ・チャット音声自動検出 有効／無効の切り替えと設定
- BGMエフェクトの設定
- 音楽再生時／通話時の音量調節
- 音楽の再生／一時停止、前（または再生中）の曲の頭出し／次の曲の頭出し
- かんたん機器登録（ペアリング）*
- 音声コントロールの言語設定
- セーフリスニングのオン／オフ切り替え
- 立体音響とヘッドトラッキング設定
- Auto Play設定
- スピーカーとのシームレス再生（Auto Switch）*
- 360 Upmix for Cinemaの設定
- 通話中のマイクのオン／オフ切り替え

* LE Audio接続時には使用できません。

ヒント

- オーディオ機器によって“Sony | Sound Connect”アプリでできる操作は異なります。アプリの仕様および画面デザインは予告なく変更する場合があります。

ご注意

- 通話中はBGMエフェクトは無効になります。

関連項目

- “Sony | Sound Connect”アプリをインストールする
- 充電式電池の残量を確認する
- ノイズキャンセリング機能を使う
- 装着状態や環境に合わせてノイズキャンセリング性能を常に自動で最適化する
- 音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））
- 音質モードについて
- 対応コーデックについて
- DSEE Extremeについて
- 周囲の騒音レベルに合わせて自動で外音取り込みレベルを調整する（自動外音取り込み）
- ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）
- 2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）
- 360 Reality Audioについて
- スピーカーと組み合わせてシームレス再生を楽しむ（Auto Switch）
- 360 Upmix for Cinemaを使う
- 通話時にできること

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

“Sony | Sound Connect”アプリをインストールする

1. **Google PlayストアまたはApp Storeから“Sony | Sound Connect”アプリをダウンロードしてスマートフォンにインストールする。**



2. **インストールが終了したら“Sony | Sound Connect”アプリを起動する。**

関連項目

- “Sony | Sound Connect”アプリでできること

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

“Sony | Sound Connect”アプリからサポート情報を見る

“Sony | Sound Connect”アプリから最新のサポート情報を見ることができます。

1. **“Sony | Sound Connect”アプリ画面の［ヘルプ］からサポートページを閲覧する。**
2. **参照したい項目を選ぶ。**

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）

“Sony | Sound Connect”アプリを使ってヘッドセットの最新のソフトウェアをインストールすることで、新しい機能を楽しむことができたり、いくつかの問題が解決することがあります。
常にソフトウェアを最新の状態にしてお使いください。
ヘッドセットの最新のソフトウェアおよびアップデートの方法について詳しくは、サポートページ内のお知らせなどをご確認ください。

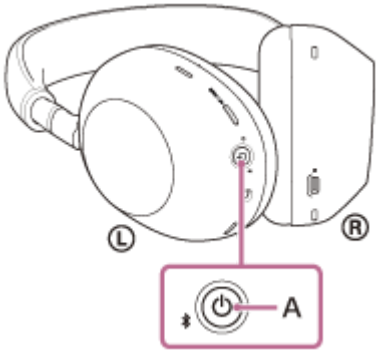
“Sony | Sound Connect”アプリで自動アップデートの設定を有効にしていて、以下の条件を満たしているときは、ヘッドセットを使用していない夜間を目途に自動でアップデートを開始します。

- ソフトウェアの転送が完了している。
- ヘッドセットの充電式電池の残量が20%より多い。
- ヘッドセットの電源がオフの状態。

以下の方法でも、ヘッドセットのソフトウェアアップデートを行うことができます。

1 ヘッドセットの電源を入れる。

（電源）ボタン（A）を約2秒以上押したままにします。



2 スマートフォンなどのモバイルデバイスで“Sony | Sound Connect”アプリを起動する。

3 画面の表示に従ってアップデートを行う。

ご注意

- アップデートで使用しているモバイルデバイスに他のBluetooth機器が接続されている場合、アップデートが完了するまで、すべてのBluetooth機器の電源を切ってください。
  モバイルデバイスにBluetooth Low Energyに対応した機器（ウェアラブル端末・スマートウォッチなど）が接続されているとアップデートができない場合があります。
- ヘッドセットのアップデートが完了できない場合、以下の点を注意してください。
  - モバイルデバイスにある、“Sony | Sound Connect”アプリ以外のアプリをすべて終了する。
  - ヘッドセットとモバイルデバイスを充分に充電する。
  - ヘッドセットとアップデートで使用するモバイルデバイスをできるだけ近づけてアップデートを行う。
  - 周辺の無線LAN機器やBluetooth機器などの近くでアップデートを行わない。
  - アップデートはモバイルデバイスの省電力モード*をオフにして行う。
    お使いのモバイルデバイスのOSバージョンによって、省電力モードではアップデートが完了しない場合があります。

* 名称はお使いのモバイルデバイスによって異なります。

関連項目

- “Sony | Sound Connect”アプリでできること

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

サービスとの連携でできること

“Sony｜Sound Connect”アプリで設定すると、ヘッドセットと連携したアプリをご利用いただけます。
連携できるアプリについては詳しくは、下記URLをご覧ください。
https://www.sony.net/supported-servicelink

最新のサービスおよび連携してできる体験について詳しくは、“Sony | Sound Connect”アプリの［サービス］タブをご確認ください。

1. **“Sony | Sound Connect”アプリを起動する。**
2. **“Sony | Sound Connect”アプリで各サービスの設定をする。**

ご注意

- 連携できるサービスは、国や地域ごとに異なります。
- 連携できるサービスの仕様は、予告なく変更、停止または終了する場合があります。
- 別途対応するアプリをインストールする必要があります。
- サービスとの連携について詳しくは、下記URLをご覧ください。
  sony.net/servicelink

関連項目

- “Sony | Sound Connect”アプリをインストールする

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

使用上のご注意

Bluetooth通信について

- Bluetooth無線技術は、スマートフォンやパソコンなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。通信有効範囲は障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって変動します。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではヘッドセットおよびBluetooth機器の電源を切ってください。
  - 病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知機の近く
- ヘッドセットを航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従ってください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べてヘッドセット側での再生が遅れるため、動画視聴時やゲームでご使用の場合、映像と音声がずれる場合があります。
- ヘッドセットは、Bluetooth無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティーが充分でない場合があります。Bluetooth通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ヘッドセットはすべてのBluetooth機器とのBluetooth接続を保証するものではありません。
  - 接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
  - 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
  - ハンズフリー通話中、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

静電気に関するご注意

- 空気が乾燥する時期にヘッドセットを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、これはヘッドセットの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身につけていただくことにより影響が軽減されます。

装着に関するご注意

- ヘッドセットは密閉度を高めていますので、強く押された場合や急に耳から外した場合、鼓膜などを痛める危険があります。 また、ヘッドセットを装着したときに、振動板から音が生じる場合がありますが、故障ではありません。

その他のご注意

- ヘッドセットは精密機器のため落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- タッチセンサーコントロールパネルにステッカーなどを貼ると、正しく動作しないことがあります。
- ヘッドセットを折りたたむ際に指を挟まないようにご注意ください。
- 有線接続時は必ず付属のヘッドホンケーブルを使用してプラグをしっかり差してください。
- お使いのスマートフォンの電波状況や場所の影響によっては、ヘッドセットが使用できない場合があります。
- ドライバーユニットに息を吹きかけないでください。
- ヘッドセットは力を加えたまま長時間放置すると、変形する恐れがあります。保管するときは、力を加えないようにしてください。
- ヘッドセットを使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- イヤーパッドは長期の使用・保存により破損したり劣化する恐れがあります。
- ヘッドセットは防水仕様ではありません。水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

お手入れのしかた

- ヘッドセットの外装のほこりや汚れは、純水タイプのウェットティッシュで拭き取ることが可能です。 アルコールを含むウェットティッシュ、シンナー、ベンジンなどは表面の仕上げを痛めたり、故障や破損につながるため使わないでください。

ヘッドセットを医療機器の近くで使わない

- 電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。
- ヘッドセットは磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。ヘッドセットをこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、ヘッドセットのご使用前に担当医師にご相談ください。

ヘッドセットを磁気カードに近づけない

- ヘッドセットは磁石を使用しています。磁気を利用したカード類を近づけると、カードの磁気が変化して使えなくなることがあります。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

水ぬれによる焼損や故障を防ぐために

ヘッドセットの防水性能について

ヘッドセットは防水仕様ではありません。水や異物が入ると焼損や故障の原因になります。

下記のような状況を避け、ヘッドセットに水分や汚れが付かないよう注意してください。

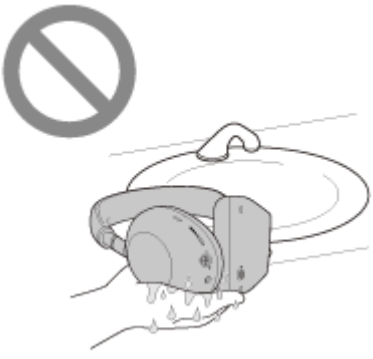
- 雨や雪の中で使用する。







- キッチンでの水仕事や洗面所で手を洗った後、水にぬれた手をよく拭かずにヘッドセットに触れる。



- 汗が付いた手でヘッドセットを触ったり、多くの汗がヘッドセットに付着する状況で使用する。





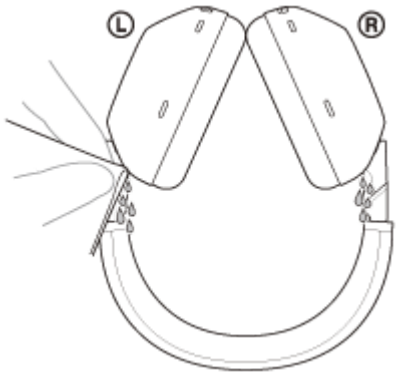


- 冷えたペットボトルと一緒にカバンの中に入れる。



万一、ヘッドセットに水がかかったり、内部に入った場合は

ぬれたまま充電したり、電源を入れると焼損や故障の原因になります。なるべく振動を与えないようにヘッドセットをひっくり返し、スライダー部根本の穴から水が出てこなくなるまで、乾いた布を当ててください。その後、完全に乾燥するまで風通しの良い日陰で放置してください。



5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

ライセンスについて

- 本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。
https://rd1.sony.net/help/mdr/sl/25/
- 「Made for Apple」バッジは、アクセサリが本バッジに記載されたアップル製品専用に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- 本製品に搭載され、または本製品で利用可能なネットワークサービス、コンテンツおよびソフトウェア（オペレーションシステム含む）には、各々の利用条件が適用されます。予告なく提供が中断・終了したり、内容が変更されたり、ご利用に際して別途の登録や料金の支払いが必要になる場合がありますので、ご了承ください。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

商標について

- Google、AndroidおよびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。
- Apple、iPhone、macOS、MacおよびSiriは米国および他の国や地域で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- App Storeは、米国および他の国や地域で登録されたApple Inc.のサービスマークです。
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。Auracast™ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する商標です。ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- USB Type-C™およびUSB-C™は、USB Implementers Forumの商標です。
- ウォークマン®、WALKMAN®、WALKMAN®ロゴは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標です。
- LDACおよびLDACロゴは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の商標です。
- “DSEE”、“DSEE Extreme”はソニーグループ株式会社またはその関連会社の商標または登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

サポートホームページで調べる

https://www.sony.jp/support/headphone/
接続対応機器情報、サポート情報、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

困ったときにすること

困ったときは、下記の流れにしたがってください。

1. ヘッドセットの電源を一度オフにして、充電してから再度電源をオンにする。

↓

2. 接続機器（パソコン、スマートフォンなど）を再起動する。

↓

3. "Sony | Sound Connect"アプリのメニューからサポートサイトにアクセスし、該当するトラブルと解決方法を調べる、または下記のサポートサイトを確認する。
https://www.sony.jp/support/headphone/products/wh-1000xm6.html

↓

4. ヘッドセットをリセットする。

↓

5. ヘッドセットを初期化する。

↓

6. それでも正常に動作しない場合は、下記のソニーの相談窓口またはお買い上げ店に問い合わせる。
https://www.sony.net/support-contact

関連項目

- ヘッドセットを充電する
- サポートホームページで調べる
- リセットする
- 初期化する

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

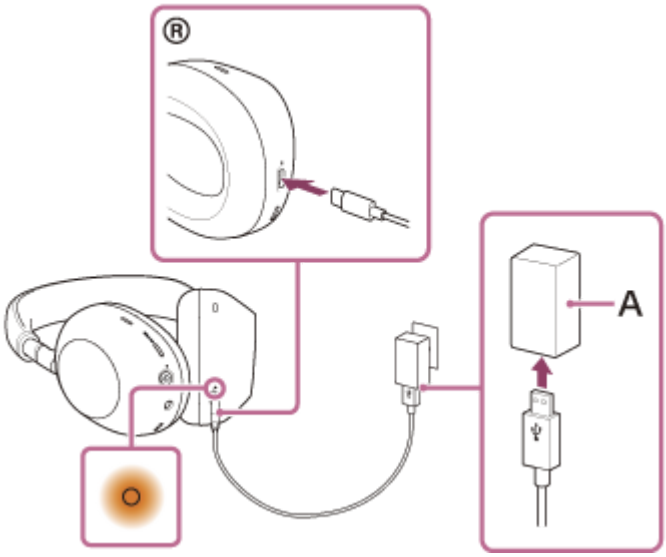
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

リセットする

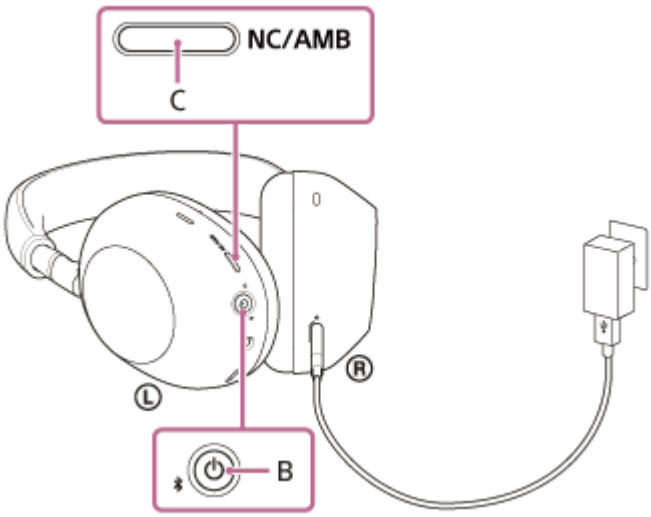
ヘッドセットの電源が入らない、または電源が入っているのに操作ができない場合は、ヘッドセットをリセットしてください。

1 ヘッドセットを電源コンセントに接続する。

付属のUSB Type-Cケーブルと別売のUSB ACアダプター（推奨：AC-UD20）（A）を使用します。



2 ⏻（電源）ボタン（B）とNC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタン（C）を約5秒間押したままにする。



ヘッドセットがリセットされます（充電ランプが一度消灯したあとに再点灯します）。

機器登録（ペアリング）情報、その他の設定は保持されます。
症状が改善されないときはヘッドセットを初期化してください。

関連項目

- 初期化する

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

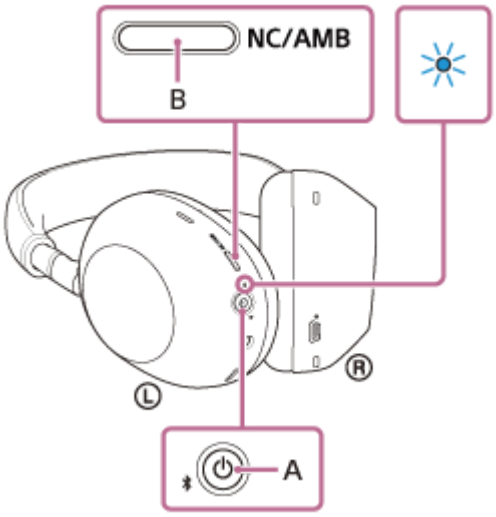
初期化する

ヘッドセットをリセットしても症状が改善されないときは、初期化してください。

1. **ヘッドセットの電源を切る。**

   USB Type-Cケーブルを外してください。

2. **（電源）ボタン（A）とNC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタン（B）を約10秒間押したままにする。**



   初期化が完了すると、ランプ（青）が4回（ ● - ● - ● - ● -）点滅します。

音量調節などを工場出荷時の設定に戻し、すべての機器登録（ペアリング）情報を削除します。この場合は接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除してもう一度ペアリングをしてください。
初期化しても動作が改善されないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店へお問い合わせください。

関連項目

- リセットする

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM6

主な仕様

ヘッドセット

電源：

DC 5 V / 1.5 A （市販USB ACアダプタを使用）
DC 5 V / 1.5 A、9 V / 2.3 A （市販USB Power Delivery 対応ACアダプタを使用）
または内蔵されたリチウムイオン電池を使用（製品の動作電源 DC 3.8 V）

許容動作温度：

0 ℃～40 ℃

充電時間：

約3.5時間

ご注意

- 使用条件により変わる場合があります。

充電温度：

5 ℃～35 ℃

質量：

約 254 g

インピーダンス：

48 Ω （1 kHzにて）（有線接続、POWER ON 時）
16 Ω （1 kHzにて）（有線接続、POWER OFF 時）

音圧感度：

103 dB/mW（有線接続、POWER ON 時）
102 dB/mW（有線接続、POWER OFF 時）

再生周波数帯域：

4 Hz - 40 000 Hz（IEC）[1)]
（有線接続、POWER ON 時）

通信仕様

通信方式：

Bluetooth標準規格 Ver. 5.3

出力：

Bluetooth標準規格 Power Class 1

最大通信距離：

見通し距離 約10 m [2)]

使用周波数帯域：

Bluetooth: 2.4 GHz帯（2.400 0 GHz - 2.483 5 GHz）

対応Bluetoothプロファイル [3)] ：

A2DP/AVRCP/HFP/HSP
TMAP/GMAP/PBP

対応コーデック [4)] ：

SBC
AAC
LDAC
LC3

伝送帯域（A2DP）：

20 Hz - 20 000 Hz（44.1 kHzサンプリング時）
20 Hz - 40 000 Hz（LDAC 96 kHzサンプリング、990 kbps 時）

1) IEC（国際電気標準会議）規格による測定値です。
2) 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
3) Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。
4) 音声圧縮変換方式のこと

ヘッドセットの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

対応iPhone

iPhone 15 Pro Max
iPhone 15 Pro
iPhone 15 Plus
iPhone 15
iPhone 14 Pro Max
iPhone 14 Pro
iPhone 14 Plus
iPhone 14
iPhone SE（第3世代）
iPhone 13 Pro Max
iPhone 13 Pro
iPhone 13
iPhone 13 mini
iPhone 12 Pro Max
iPhone 12 Pro
iPhone 12
iPhone 12 mini
iPhone SE（第2世代）
iPhone 11 Pro Max
iPhone 11 Pro
iPhone 11
iPhone XS Max
iPhone XS
iPhone XR
iPhone X
iPhone 8 Plus
iPhone 8

※ 2025年1月 現在

5-063-141-01(4) Copyright 2025 Sony Corporation